

(様式第10)

東北病医 第 424 号

平成26年10月

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

東北大学病院長

下瀬川 徹

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第の規定に基づき、平成25年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号
氏 名	国立大学法人 東北大学総長 里見 進

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東北大学病院

3 所在の場所

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号 電話(022)717-7000

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 内科 2 腎臓・内分泌内科 3 血液内科 4 リウマチ科 5 糖尿病・代謝内科 6 漢方内科 7 腫瘍内科 8 循環器内科 9 感染症内科 10 老年内科 11 呼吸器内科 12 消化器内科 13 神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 肝臓・胆のう・膵臓外科 2 胃腸外科 3 移植・食道・血管外科 4 乳腺・内分泌外科 5 心臓血管外科 6 呼吸器外科 7 小児外科 8 小児腫瘍外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑬麻酔科 ⑭救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科 2 歯科口腔外科 3 小児歯科 4 矯正歯科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 心療内科 2 形成外科 3 リハビリテーション科 4 病理診断科 5 頭頸部外科
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	2床	床	床	1190床	1232床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	381人	153人	528.2人	看護補助者	135人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	90人	72人	155人	理学療法士	24人	臨床検査技師	116人
薬剤師	86人	0人	86人	作業療法士	8人	衛生検査技師	3人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	14人	その他	0人
助産師	57人	1人	57.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,097人	26人	1,115.5人	臨床工学技師	21人	医療社会事業従事者	24人
准看護師	3人	0人	3人	栄 養 士	0人	その他の技術員	122人
歯科衛生士	6人	20人	23.7人	歯 科 技 工 士	7人	事 務 職 員	412人
管理栄養士	13人	2人	15人	診療放射線技師	65人	その他の職員	125人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	19人	眼科専門医	13人
外科専門医	77人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	9人	放射線科専門医	21人
小児科専門医	24人	脳神経外科専門医	12人
皮膚科専門医	12人	整形外科専門医	13人
泌尿器科専門医	8人	麻酔科専門医	15人
産婦人科専門医	27人	救急科専門医	10人
		合 計	270人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	984.4人	26.7人	1,011.1人
1日当たり平均外来患者数	2,376.9人	623.0人	2,999.9人
1日当たり平均調剤数	1,233.9剤		
必要医師数	242人		
必要歯科医師数	23人		
必要薬剤師数	34人		
必要(准)看護師数	611人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	621.39m ²	鉄筋コンクリート造	病床数	30床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 329m ² [移動式の場合] 台数 0台		病床数	23床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 82m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	705m ²	鉄骨造	(主な設備) 生化学・免疫検査装置			
細菌検査室	342m ²	鉄筋コンクリート造	(主な設備) クリーンベンチ			
病理検査室	348m ²	鉄筋コンクリート造	(主な設備) 安全キャビネット			
病理解剖室	112m ²	鉄筋コンクリート造	(主な設備) 解剖台			
研究室	6,838m ²	鉄筋コンクリート造	(主な設備) 顕微鏡			
講義室	526m ²	鉄筋コンクリート造	室数	3室	収容定員	460人
図書室	4,476m ²	鉄筋コンクリート造	室数	4室	蔵書数	41万冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	88.7%	逆紹介率	45.0%
算出根拠 A: 紹介患者の数			26,381人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			14,641人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			2,486人
D: 初診の患者の数			32,519人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	2人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	0人
有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	5人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	0人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する生体ドナーからの小腸部分移植	0人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネーション法	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん 原発性腹膜がん	0人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン腹腔内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)並びにベバシズマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る。)による維持療法 再発卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
低出力体外衝撃波治療法 虚血性心疾患(薬物療法に対して抵抗性を有するものであって、経皮的冠動脈形成術又は冠動脈バイパス手術による治療が困難なものに限る。)	2人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	0人
神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法 神経症状を呈する脳放射線壊死(脳腫瘍又は隣接する組織の腫瘍に対する放射線治療後のものに限る。)	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であってHER2が陰性のものに限る。)	0人
インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症状を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	121人
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	56人
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは1/3、残りの2/3はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、3+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。また脳腫瘍に関しては、乏突起膠細胞腫における特異的な遺伝子変化が、組織診断の確定のみならず治療効果に関係しており、診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	高精度生体計測法(超音波生体顕微鏡):動脈硬化症および血管炎における動脈壁内部の組織ならびに機能変化の非侵襲的高精度計測	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要			
超音波を利用して血管壁における複数の計測点の動きを追跡し、そのトラッキング波形の差から血管壁の組織性状を非侵襲的かつ定量的に診断する。これまでの検討から、本測定法は微細な変化を評価できることが明らかにされており、早期の動脈硬化診断や薬剤の治療効果判定に有用であると考えられている。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
ESWLを用いて膵石を破碎する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜切開剥離法	取扱患者数	216人
当該医療技術の概要			
早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	高度進行肝細胞癌に対する集学的動注化学放射線療法	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
新規分子標的薬の使用を含め、総合的な治療技術の集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			

医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	294人
当該医療技術の概要			
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	唇顎口蓋裂による上顎低形成に対する顎矯正手術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
唇顎口蓋裂による上顎低形成に対する顎矯正手術を行っている。			
医療技術名	高度上顎低形成患者に対する上顎仮骨延長術による治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
高度上顎低形成患者に対する上顎仮骨延長術による治療を行っている。			
医療技術名	気道狭窄に対する内ステント留置術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
気道狭窄に対してシリコンステントあるいはメタリックステントを留置し、狭窄改善する。			
医療技術名	婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要			
新しい方法による医療で、外国で開発され、医学的効果が認められているが、日本では普遍化されていない医療。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(分離・調整・保存)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員採取した細胞を分離し、凍結保存する。			
医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	42人
当該医療技術の概要			
強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	147人
当該医療技術の概要			
腫瘍周囲の皮下に tracer を投与し、リンパ流によって移動した tracer で標識されたリンパ節を同定して転移の検索を行う。リンパ行性微小転移の同定に有用な方法で有り、病期判定と治療方針の決定に有用である。地域では東北大学が主たる技術提供施設である。			
医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	87人
当該医療技術の概要			
テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	狭心症に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
低出力の体外衝撃波を用いた血管新生療法。心筋血流と狭心症症状の軽減を目的とする。			
医療技術名	急性心筋梗塞に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
低出力の体外衝撃波を用いた血管新生療法。心筋梗塞慢性期の心不全増悪抑制を目的とする。			

医療技術名	下肢閉塞性動脈硬化症に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
体外衝撃波発生装置を用いて下腿の虚血部位の筋肉に対し、0.05mJ/mm ² 程度の衝撃波を照射します。照射は1回8000発の照射を週に3回、3週連続で行っています。9回の照射で合計72000発を照射しています。両名とも歩行距離の延長が見られ、治療に付随する合併症もなく経過観察期間を終了しています。			
医療技術名	精神病発症危険群に対する早期介入	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要			
精神病発症危険群のための評価尺度CAARMSを用いた診断を行い、精神病発症危険に向けた認知行動療法などのガイドラインにしたがった治療を実施し、精神病発症の予防および発症後の早期介入による予後改善を図る。			
医療技術名	放射免疫療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
抗CD20モノクローナル抗体に、放射性同位元素 ⁹⁰ Yを結合。抗体の体内分布が適切な患者に投与する。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(分離・調整・保存)	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	腹式広汎性子宮頸部摘出術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
浸潤子宮頸癌症例に対する子宮温存術式。ハイレベルの総合医療技術及び資源(人的、物的)の集積を必要とするもの。			
医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
高度難聴者の聴覚再獲得のために、人工内耳埋め込み術と聴覚のリハビリテーションを行っている。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフエレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	リンパ管静脈吻合	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
ICG赤外線カメラ蛍光造影にてリンパ管を同定し、四肢リンパ浮腫に対しマイクロ下にリンパ管と静脈を吻合する。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	85人
当該医療技術の概要			
稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要			
自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			

医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法 (IMRT)	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	微小片皮膚移植とエキシマライト併用による白斑治療	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
皮膚色素細胞機能不全もしくは減少に起因する白斑疾患に対する治療法である。特に分節型白斑症に適応となる。微小片皮膚移植とエキシマライトのそれぞれが白斑に対して医学的効果を有することが認められているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や併用療法の治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	経静脈的ステロイドパルス療法による白斑治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
皮膚色素細胞機能不全もしくは減少に起因する白斑疾患に対する治療法である。特に非分節型と汎発型白斑症に適応となる。ステロイドパルス療法が白斑に対して医学的効果を有することが海外を含めて報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	経静脈的ステロイドパルス療法による円形脱毛症治療	取扱患者数	68人
当該医療技術の概要			
自己免疫性・炎症性反応に起因する脱毛性疾患に対する治療法である。特に急速進行の多発型、全頭型、全身型の脱毛症に適応となる。ステロイドパルス療法が脱毛性疾患に対して医学的効果を有することが海外を含めて報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	関節炎症状を伴う乾癬に対するメトトレキサートと分子標的薬併用療法	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
関節炎症状から関節変形をきたしうる乾癬患者に対し、分子標的薬の効果減弱や二次無効を抑制するために行われる治療法。医学的効果を有することが海外で報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	肥厚性癬痕・ケロイドのCO2フラクショナル・レーザー療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
フラクショナル・レーザーを用いて、肥厚性癬痕・ケロイドの再癬痕化をきたさない程度の超微小皮膚欠損を作成し、容積減少を試みる治療法である。医学的効果を有することが海外で散発的に報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性膵壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
近年NOTESの手法を応用し、経胃的に感染性膵壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			
医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	摂食嚥下発音リハビリテーション	取扱患者数	80人
当該医療技術の概要			
口腔・咽頭部を外科的に治療および放射線療法した場合、組織欠損や瘢痕形成、疼痛、乾燥、味覚障害等により、摂食・嚥下・発音障害が生じる。これら術後患者に対する歯科補綴的アプローチ、すなわち口腔内に歯科補綴装置 (PAP, PLP, 顎義歯) を用いた摂食・嚥下・発音リハビリテーションをおこなっている。			

医療技術名	骨延長術(歯槽骨延長)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
インプラント埋入を前提とした高度の歯槽骨萎縮症例に対し、歯槽骨骨切り延長装置を埋入し、顎堤形成を行う術式。			
医療技術名	成人症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	158人
当該医療技術の概要			
従来の矯正歯科治療と比較し、インプラントアンカーを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	成長期症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみでの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、インプラントアンカーを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リンガルブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装着することにより、矯正装置が全く見えず治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、インプラントアンカーを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	164人
当該医療技術の概要			
歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	375人
当該医療技術の概要			
頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、義歯の作成、開口訓練、摂食・嚥下指導を行い、口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	67人
当該医療技術の概要			
大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	切除可能胆管癌に対する術前化学放射線療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
切除可能胆管癌に対して、手術前に化学放射線療法を施行した後、根治切除を行うことで、根治切除率を向上させることができる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除不能膵癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
切除不能と診断される膵癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			

医療技術名	ロボット補助下胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 内視鏡手術ロボット(ダヴィンチサージカルシステム)は3D画像、自由度の高い関節による鉗子操作、手振れがないなど従来の内視鏡手術操作にはない利点がある。これを導入した胸腔鏡下食道切除、リンパ節郭清術は、緻密な操作が求められる本術式において、より確実な郭清と副損傷予防、合併症軽減、予後改善に寄与するものと考えられる。			
医療技術名	脳死小腸移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 内科的管理が困難になった腸管不全の患者に対し、脳死ドナーより摘出した小腸グラフトを移植し、腸管機能を回復させるものである。			
医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度に抑えられる利点がある。			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	77人
当該医療技術の概要 甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御の治療としては数少ない手段である。			
医療技術名	産後出血による経皮的塞栓術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 出産後の予期せぬ出血に対し開腹することなく低侵襲で経皮的、経カテーテル的に出血減となる血管を同定し塞栓する治療。			
医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	51人
当該医療技術の概要 急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健康な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)などが適応となる。			
医療技術名	エンドトキシン吸着	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 エンドトキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドトキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS)	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。			
医療技術名	体外膜型酸素化装置	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。			
医療技術名	院外心肺停止患者の蘇生後脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 院外心肺停止で搬送される患者さんが蘇生に成功した際、ただちに体温を34度まで下げて24時間維持するもの。低酸素に暴露された脳のダメージを最小限にできることが期待され、心肺蘇生の国際的ガイドラインでもそのエビデンスが支持されている。			

医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一時的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。			
医療技術名	一酸化炭素中毒患者に対する高圧酸素療法	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 第2種高圧酸素治療装置を用いて、一酸化炭素中毒発症後24時間で3回以内の治療を行うことで、遅発性脳症の発症抑制が期待される。			
医療技術名	エピテーゼによる顔面部欠損の補綴	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 顔面形成術では回復困難な顔面部に生じた欠損に対して、エピテーゼを適応することによって欠損部の修復を行い、審美・機能回復を図る。			
医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			
医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下胆道再建術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 顕微鏡下手術(マイクロサージャリー)は微小血管再建に極めて有用な機器である。これを生体部分肝移植における微小胆管再建に導入することで、胆道合併症軽減(リーク、狭窄軽減)に寄与すると考えられる。			
医療技術名	前立腺癌に対するI-125密封小線源治療	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 低リスク前立腺癌に対して、I-125密封小線源を前立腺局所に挿入、留置する治療を行っている。手術に比べ機能温存に優れ、有害事象が軽度に抑えられる。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	137人	・膿疱性乾癬	9人
・多発性硬化症	329人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	142人	・原発性胆汁性肝硬変	107人
・全身性エリテマトーデス	505人	・重症急性膵炎	23人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	79人
・再生不良性貧血	60人	・混合性結合組織病	68人
・サルコイドーシス	339人	・原発性免疫不全症候群	29人
・筋萎縮性側索硬化症	110人	・特発性間質性肺炎	83人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	293人	・網膜色素変性症	66人
・特発性血小板減少性紫斑病	115人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	70人	・肺動脈性肺高血圧症	86人
・潰瘍性大腸炎	497人	・神経線維腫症	58人
・大動脈炎症候群	108人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・ビュルガー病	33人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	33人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	63人
・脊髄小脳変性症	141人	・ライソゾーム病	9人
・クローン病	379人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	10人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2人
・悪性関節リウマチ	18人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	312人	・球脊髄性筋萎縮症	11人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	36人
・後縦靭帯骨化症	57人	・肥大型心筋症	21人
・ハンチントン病	5人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	169人	・ミトコンドリア病	8人
・ウェゲナー肉芽腫症	19人	・リンパ管筋腫症(LAM)	29人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	190人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	49人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	214人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・退院調整加算
・歯科外来診療環境体制加算	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・歯科診療特別対応連携加算	・総合評価加算
・特定機能病院入院基本料	・データ提出加算
・臨床研修病院入院診療加算	・救命救急入院料3
・救急医療管理加算	・救命救急入院料4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・特定集中治療室管理料1
・診療録管理体制加算	・ハイケアユニット入院医療管理
・急性期看護補助体制加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・小児入院医療管理料2
・無菌治療室管理加算1	・緩和ケア病棟入院料
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
・糖尿病合併症管理料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・人工内耳植込術
・外来緩和ケア管理料	・植込型骨導補聴器
・移植後患者指導管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・糖尿病透析予防指導管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・外来放射線照射診療料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2
・ニコチン依存症管理料	・組織拡張器(一次再建の場合)
・開放型病院共同指導料	・組織拡張器(二次再建の場合)
・地域連携診療計画退院時指導料(I)	・人工乳房(一次一次的再建の場合)
・がん治療連携計画策定料	・人工乳房(一次二期的再建及び二次再建の場合)
・がん治療連携管理料	・同種死体肺移植術
・肝炎インターフェロン治療計画料	・生体部分肺移植術
・薬剤管理指導料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療機器安全管理料1	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・医療機器安全管理料2	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・歯科治療総合医療管理料	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・造血器腫瘍遺伝子検査	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・HPV核酸検出	・補助人工心臓
・検体検査管理加算(IV)	・植込型補助人工心臓(拍動流型)
・遺伝カウンセリング加算	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・同種心移植術
・植込型心電図検査	・同種心肺移植術
・時間内歩行試験	・経皮的動脈遮断術
・胎児心エコー法	・ダメージコントロール手術
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下肝切除術
・人工膵臓	・生体部分肝移植術
・皮下連続式グルコース測定	・同種死体肝移植術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

施設基準の種類	施設基準の種類
・神経学的検査	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・ロービジョン検査判断料	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内服・点滴誘発試験	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・センチネルリンパ節生検	・体外衝撃波膵石破碎術
・画像診断管理加算2	・同種死体腎移植術
・歯科画像診断管理加算2	・生体腎移植術
・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・膀胱水圧拡張術
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・冠動脈CT撮影加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・外傷全身CT加算	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・大腸CT撮影加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む)に掲げる手術
・心臓MRI撮影加算	・輸血管管理料Ⅰ
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・外来化学療法加算1	・内視鏡手術用施設機器加算
・無菌製剤処理料	・歯周組織再生誘導手術
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・手術時歯根面レーザー応用加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・がん患者リハビリテーション料	・放射線治療専任加算
・認知療法・認知行動療法	・外来放射線治療加算
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・高エネルギー放射線療法
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・強度変調放射線治療(IMRT)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・医療保護入院等診療料	・体外照射呼吸性移動対策加算
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・直線加速器による放射線治療
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・透析液水質確保加算2	・保険医療機関間の連携による病理診断
・一酸化窒素吸入療法	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・歯科技工加算	・病理診断管理加算2
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・歯科矯正診断料
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・顎顔面補綴	・
・人工括約筋を用いた尿失禁手術	・
・腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	・
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	・
・歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	341回
部 検 の 状 況	部検症例数 64 例 / 部検率 5.90%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大学病院における医師等の勤務環境の改善のための人員の雇用	小山 大輔	事務部	44,660,000	補 委 文部科学省
看護師の人材養成システムの確立	門馬 典子	看護部	19,526,000	補 委 文部科学省
周産期医療に関わる専門的スタッフの養成	八重樫 伸生	婦人科	36,408,000	補 委 文部科学省
チーム医療推進のための大学病院職員の人材養成システムの確立	下瀬川 徹	病院長	12,240,000	補 委 文部科学省
コンダクター型総合診療医の養成	石井 正	総合地域医療教育支援部	79,460,000	補 委 文部科学省
インターフェロン分解による腫瘍細胞骨転移促進機構の解明	菅崎 弘幸	顎口腔機能治療部	1,700,000	補 委 日本学術振興会
免疫系細胞による歯根吸収制御機構の解明	菅崎 弘幸	顎口腔機能治療部	3,000,000	補 委 日本学術振興会
ドナーソースとしての腭外分泌細胞の有用性に関する検討	関口 悟	移植・再建・内視鏡外科	600,000	補 委 日本学術振興会
パルスジェットメスによる内視鏡的治療技術の応用開発	中野 徹	移植・再建・内視鏡外科	1,950,000	補 委 日本学術振興会
蛍光計測技術を用いた消化器がんに対する革新的内視鏡下手術システム	亀井 尚	移植・再建・内視鏡外科	4,900,000	補 委 日本学術振興会
抗癌剤耐性関連ABCトランスポーターに対するクルクミン誘導体の抑制効果の研究	工藤 克昌	胃腸外科	3,100,000	補 委 日本学術振興会
抗TNF- α 抗体の発癌に与える影響 - 大腸癌を抑制する? -	羽根田 祥	胃腸外科	2,200,000	補 委 日本学術振興会

計 12

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
CGRPを介した全く新しい機序の緩下剤開発に向けての基礎的検討	長尾 宗紀	胃腸外科	4,000,000	補委 日本学術振興会
回腸囊炎は潰瘍性小腸炎であるという仮説に基づいた潰瘍性大腸炎起炎菌の同定の試み	神山 篤史	胃腸外科	3,000,000	補委 日本学術振興会
消化器癌に発現する抗癌剤耐性ABCトランスポーターのスプライシングの機能解析	大沼 忍	胃腸外科	900,000	補委 日本学術振興会
4つの機能を有する次世代型新規二重特異性人工抗体を用いた癌分子標的免疫治療の確立	林 洋毅	肝・胆・膵外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
遺伝子不安定性陽性膵癌のフレームシフト変異由来ペプチドに対する免疫応答	岡田 恭穂	肝・胆・膵外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
癌幹細胞様細胞を狙ったNotchシグナル阻害による胆道癌新規分子標的治療の確立	水間 正道	肝・胆・膵外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
定量プロテオミクス・メタボロミクスアーカイブに基づく膵癌オーダーメイド治療の確立	元井 冬彦	肝・胆・膵外科	4,500,000	補委 日本学術振興会
膵島特異的微小気泡超音波造影剤の開発	坂田 直昭	肝・胆・膵外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
Cripto-1を標的とした大腸癌個別化治療法の確立	唐澤 秀明	肝・胆・膵外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
末期緑内障患者の視野障害が自動車運転能力に与える危険性の評価	国松 志保	眼科	600,000	補委 日本学術振興会
血管新生抑制因子徐放デバイスによる新規加齢黄斑変性治療法の開発	大浪 英之	眼科	1,000,000	補委 日本学術振興会
マクロファージを標的とした新しい眼炎症疾患に対する治療	丸山 和一	眼科	1,300,000	補委 日本学術振興会
透明化羊膜を用いた眼表面疾患新規治療法の開発	横倉 俊二	眼科	1,400,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
妊娠子宮における核カテプシンLの機能と核移行メカニズムの解析	中村 織江	眼科	600,000	補委 日本学術振興会
ヒブワクチン効果に影響するインフルエンザ菌莢膜遺伝子重複の細菌学的・疫学的研究	徳田 浩一	感染管理室	1,000,000	補委 日本学術振興会
新規HDAC/PI3K dual inhibitorの開発	西條 憲	がんセンター	1,900,000	補委 日本学術振興会
IGF-1による歯の形態制御に関する研究	金原 正敬	矯正歯科	1,100,000	補委 日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症モデルマウスを用いたRunx2メカニカルストレス応答機構の解析	青沼 智	矯正歯科	1,300,000	補委 日本学術振興会
マウス歯胚形成におけるCCNファミリーの包括的解析	長谷川 正和	矯正歯科	1,600,000	補委 日本学術振興会
金属ガラス製歯科生体材料の開発	岩崎 将也	矯正歯科	2,700,000	補委 日本学術振興会
メカニカルストレス刺激時における歯根膜細胞から骨芽細胞への分化メカニズム	解良 洋平	矯正歯科	2,000,000	補委 日本学術振興会
破骨細胞性骨吸収におけるc-Src下流分子の探索	松原 琢磨	矯正歯科	1,700,000	補委 日本学術振興会
慢性下肢虚血に対する新しい遺伝子治療システムの開発	武田 陸	形成外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
フローサイトメトリーによる膠原病患者抗血管内皮細胞抗体の対応抗原の同定と機能解析	藤井 博司	血液・免疫科	1,800,000	補委 日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞における転写因子GATA-2の機能解析	沖津 庸子	血液・免疫科	1,200,000	補委 日本学術振興会
アシネトバクター属の菌種レベルにおける耐性機序解析および病原性解析	遠藤 史郎	検査部	1,300,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
若年女性の子宮頸がん検診受診率や子宮頸がん発症の推移とその要因の 前向き調査	岡本 聡	検査部	1,200,000	補 委 日本学術振興会
インフルエンザ感染に伴うARDS後の 肺線維化の発症機序の解明	青柳 哲史	検査部	1,900,000	補 委 日本学術振興会
超音波画像による頸部リンパ節転移診 断のためのボリュームレジストレーシ ョン法の開発	阪本 真弥	口腔診断科	1,000,000	補 委 日本学術振興会
日本-タイの二国間比較による味覚障 害の病因解明と治療戦略の構築	庄司 憲明	口腔診断科	5,200,000	補 委 日本学術振興会
ナノバブルを用いた頸部リンパ節ネット ワークのリアルタイム画像解析システム の開発	阪本 真弥	口腔診断科	1,000,000	補 委 日本学術振興会
シェーグレン症候群の克服に向けたヒ ト唾液腺アポトーシスパスウェイの解析	酒井 梓	口腔診断科	1,000,000	補 委 日本学術振興会
インフラ途絶下において利用可能な体 温管理システムの開発	古川 宗	高度救命救急セン ター	1,000,000	補 委 日本学術振興会
内頸動脈閉塞におけるリアルタイム脳 血流量評価法の開発	佐藤 健一	高度救命救急セン ター	1,500,000	補 委 日本学術振興会
前向きコホート研究に基づく歯周病と 動脈硬化との関連の解明	村上 任尚	高齢者歯科治療部	800,000	補 委 日本学術振興会
脳死肺移植における新規ドナー肺モニ タリングシステムの開発	野田 雅史	呼吸器外科	1,200,000	補 委 日本学術振興会
喀痰中のマイクロRNAを用いた肺癌の 早期発見に関する研究	桜田 晃	呼吸器外科	1,500,000	補 委 日本学術振興会
肺組織幹細胞への再分化転換機構を 応用した炎症性肺疾患の新規治療法 の開発	菊地 利明	呼吸器内科	3,100,000	補 委 日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患病態における自然 免疫の役割の解明	小荒井 晃	呼吸器内科	1,500,000	補 委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
慢性閉塞性肺疾患におけるオキシステロールの役割の解明	杉浦 久敏	呼吸器内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
核内受容体による線維化調節機構とその制御	久田 修	呼吸器内科	900,000	補委 日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞由来液性因子の代謝変容作用を用いた呼吸器難治病態の制御	大河内 眞也	呼吸器内科	1,200,000	補委 日本学術振興会
Toll様受容体システムによる抗原依存的な気道分泌調節機構の解明	玉田 勉	呼吸器内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
EGFR(上皮成長因子受容体)遺伝子変異陽性肺癌の分子遺伝学的発生母地の解明	菊地 利明	呼吸器内科	900,000	補委 日本学術振興会
大規模コホート研究およびレセプトを基盤とした両親の産後うつ要因と弊害の新規抽出	西郡 秀和	産科	1,500,000	補委 日本学術振興会
妊娠ヒツジ子宮内炎症モデルを用いた胎児皮膚組織における炎症進展機序の解析	齋藤 昌利	産科	1,300,000	補委 日本学術振興会
婦人科疾患の治療前後における性機能、排尿機能及びQOLの変化に関する研究	石田 志子	産科	600,000	補委 日本学術振興会
CYP3A4を標的にしたSXRを介した薬物耐性に対する卵巣癌新規治療法の可能性	近藤 亜紀子	産科	1,200,000	補委 日本学術振興会
マイクロRNA解析による子宮体部漿液性腺癌の薬剤耐性機序の解明と治療応用への検討	永瀬 智	周産母子センター	1,000,000	補委 日本学術振興会
子宮内膜癌におけるステロイドサルファターゼ阻害剤を用いた新たな内分泌療法法の確立	志賀 尚美	婦人科	1,100,000	補委 日本学術振興会
生殖細胞特異的に発現するエストロゲン受容体beta標的遺伝子Bnc1の機能解析	井原 基公	婦人科	1,400,000	補委 日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いた子宮体部漿液性腺癌の網羅的トランスクリプトーム解析	羽根田 健	婦人科	1,400,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
子宮内膜症のSF-1プロモーター領域におけるDNAメチル化の検討	海法 道子	婦人科	800,000	補委 日本学術振興会
妊娠時過剰インスリン抵抗性への治療的戦略:次世代の生活習慣病発症予防も目指して	杉山 隆	周産母子センター	1,600,000	補委 日本学術振興会
酸感受性イオンチャンネルを介した術後痛のメカニズム —乳酸は痛みを増強するか—	城戸 幹太	歯科麻酔疼痛管理科	500,000	補委 日本学術振興会
乳酸産生が術後痛に与える影響—酸感受性チャンネルを介した痛みのメカニズム—	安田 真	歯科麻酔疼痛管理科	500,000	補委 日本学術振興会
歯髄選択血流計を試作し、血流検出を基準とした新しい歯髄診査法の有用性を検証する	井川 資英	歯周病科	500,000	補委 日本学術振興会
脳卒中後歩行障害に対する機能回復型ブレイン・マシンインターフェイス開発	竹内 直行	肢体不自由リハビリテーション科	1,000,000	補委 日本学術振興会
くも膜下出血後の脳血管攣縮期におけるリハビリテーションの有用性の検討	近藤 健男	リハビリテーション部	1,300,000	補委 日本学術振興会
加齢による肩甲骨周囲筋の形態的および機能的変化と肩腱板断裂の関係	村木 孝行	リハビリテーション部	500,000	補委 日本学術振興会
EMTによる頭頸部癌悪性化および癌幹細胞活性化機構の解析	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科	900,000	補委 日本学術振興会
ペンドレッド症候群モデルマウスの解析—内リンパイオン濃度と難聴の関係	野村 和弘	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
難治性メニエール病めまい発作に対する新規治療法の開発	宮崎 浩充	耳鼻咽喉・頭頸部外科	800,000	補委 日本学術振興会
マイクロアレイを用いたHPV関連頭頸部発癌と予後に関わるマイクロRNA異常解析	石田 英一	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,000,000	補委 日本学術振興会
喫煙関連頭頸部癌における浸潤能獲得、薬剤耐性獲得機序の解明と新治療法の開発	小川 武則	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,400,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
敗血症性副腎不全への挑戦的治療戦略	江島 豊	手術部	700,000	補委 日本学術振興会
大腸癌の新規サブグループの発癌機構に関するmicroRNAの同定・機能解析	高橋 雅信	腫瘍内科	2,200,000	補委 日本学術振興会
進行再発がんに対する経口抗がん薬治療ピーキャップ地域連携システムの開発	秋山 聖子	がんセンター	1,100,000	補委 日本学術振興会
末梢型慢性血栓性肺高血圧症に対する新たな治療法の確立	杉村 宏一郎	循環器内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
身体非活動と石灰化:心臓・血管における石灰化病変の運動による予防確立と機序解明	松本 泰治	循環器内科	500,000	補委 日本学術振興会
肺高血圧における肺動脈病変の血管内腔および血管壁観察ツールの開発	三浦 裕	循環器内科	600,000	補委 日本学術振興会
新型薬剤溶出性ステントの血管機能異常発現に与える効果についての検討	圓谷 隆治	循環器内科	1,200,000	補委 日本学術振興会
東日本大震災による精神的ストレスが心疾患患者の予後に及ぼす影響を評価する研究	後岡 広太郎	循環器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
Caveolin-1による内皮由来過分極因子と活性酸素種の調節機構についての検討	白戸 崇	循環器内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
抗腫瘍因子PP2C δ の機能制御の解明による新規分子標的創薬のための基盤研究	神藤 佑亮	障害者歯科治療部	1,100,000	補委 日本学術振興会
カルバマゼピンの骨代謝改善効果に関する基礎的研究	高橋 温	障害者歯科治療部	700,000	補委 日本学術振興会
PIXE法を用いた乳歯硬組織および唾液中微量元素分析と子どもの環境リスク評価	猪狩 和子	障害者歯科治療部	1,300,000	補委 日本学術振興会
骨髄由来細胞の機能改変による癌幹細胞特異的nicheを標的とした膵癌治療法の開発	下瀬川 徹	消化器内科	4,900,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代シーケンサーを用いたメタゲノム解析による慢性膵炎の病原体候補の探求	糸 潔	消化器内科	400,000	補委 日本学術振興会
食道腺癌発がんへのレプチンの関与について	荒 誠之	消化器内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
エストロゲンによる逆流性食道炎、バレット食道発生に対する抑制効果の機序の解明	飯島 克則	消化器内科	1,700,000	補委 日本学術振興会
胃における自然免疫応答が前癌病変発生を制御する機序の解明	浅野 直喜	消化器内科	1,800,000	補委 日本学術振興会
マイクロRNA関連遺伝子多型の網羅的解析による膵炎遺伝子異常の検討	下瀬川 徹	消化器内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
除菌後胃癌発がんのメカニズム:MUC5AC・MUC6発現におけるHNEの役割	宇野 要	消化器内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
NOGマウスを用いたWIP欠損症およびWASP異常症の発症機構と分子病態の解明	笹原 洋二	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会
びまん性絨毛膜羊膜へモジデローシスが胎児肺の成長発達に与える影響の解明	渡邊 達也	小児科	900,000	補委 日本学術振興会
けいれん性疾患におけるSCN1A遺伝子非翻訳領域の網羅的変異解析	中山 東城	小児科	1,500,000	補委 日本学術振興会
成育限界期の早産児におけるコーチゾル・バソプレッシン分泌不全の病態解析	秋山 志津子	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会
なぜバルプロ酸は神経管欠損症を引き起こすか?-葉酸代謝酵素欠損マウスを用いた解析	菊池 敦生	小児科	1,800,000	補委 日本学術振興会
先天性腎尿路奇形に対する次世代シーケンサーを用いたde novo変異の探索	中山 真紀子	小児科	2,400,000	補委 日本学術振興会
エクソームシーケンスによる髄鞘化関連遺伝子の解析	植松 貢	小児科	1,400,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
トリオ検体におけるアレイCGH法を用いた、ウエスト症候群の原因遺伝子検索	福與 なおみ	小児科	1,200,000	補委 日本学術振興会
胎児早産児の脳白質損傷がその後の髄鞘化に与える影響の解析	松田 直	周産母子センター	1,400,000	補委 日本学術振興会
分子生物学的手法を用いた胆道閉鎖症術後の肝内胆管再生機構の解明	田中 拓	小児外科	800,000	補委 日本学術振興会
microRNA発現解析による胆道閉鎖症患者の層別化と個別化治療のための研究	佐々木 英之	小児外科	1,500,000	補委 日本学術振興会
細胞リプログラミングを応用した人工口腔組織幹細胞の作成とその評価	福本 恵美子	小児歯科	4,000,000	補委 日本学術振興会
歯髄幹細胞による神経細胞分化誘導法の確立	菅原 優	小児歯科	1,100,000	補委 日本学術振興会
細胞接着システムを利用した歯根形成メカニズムの解明	日野 綾子(宮本綾子)	小児歯科	1,100,000	補委 日本学術振興会
マグネシウムをターゲットとした元素置換型齲蝕予防法の開発	福本 恵美子	小児歯科	800,000	補委 日本学術振興会
新規エナメル芽細胞マーカーSox21は歯原性上皮細胞の分化を調節するの か？	齋藤 幹	小児歯科	1,200,000	補委 日本学術振興会
尿毒症物質排泄機構の制御による腎不全治療	鈴木 健弘	腎・高血圧・内分泌科	1,300,000	補委 日本学術振興会
予後不良な透析患者の血清クロマトグラムに出現したピーク内の未知物質に関する研究	中山 恵輔	腎・高血圧・内分泌科	900,000	補委 日本学術振興会
褐色脂肪細胞を標的とした新しい肥満および糖尿病治療標的の同定	岡村 将史	腎・高血圧・内分泌科	1,600,000	補委 日本学術振興会
視神経脊髄炎における補体介在性・非介在性アストロサイト傷害の解明	西山 修平	神経内科	900,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
シヌクレイノパチーにおけるプリオン仮説の分子病態解明	長谷川 隆文	神経内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
多系統萎縮症における脳内 α -シヌクレイン凝集体の画像化とその臨床応用	菊池 昭夫	神経内科	700,000	補委 日本学術振興会
間欠型一酸化炭素中毒の臨床・病態解析	黒田 宙	神経内科	1,200,000	補委 日本学術振興会
特発性炎症性筋疾患におけるリンフォイドネオジェンシスと自然免疫の分子病態解析	堅山 真規	神経内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
内在化 α シヌクレインにおけるESCRTを中心とした小胞輸送に関する研究	菅野 直人	神経内科	1,500,000	補委 日本学術振興会
腎虚血再灌流障害過程におけるユビキチン・プロテアソーム系の機能解析と臨床応用	本吉 直孝	心臓血管外科	600,000	補委 日本学術振興会
薬物徐放フィルムによる肺静脈狭窄抑制効果に関する実験的研究	安達 理	心臓血管外科	1,400,000	補委 日本学術振興会
静脈グラフト劣化と狭窄予防のための生体吸収性薬物徐放血管外ステントの開発	河津 聡	心臓血管外科	1,800,000	補委 日本学術振興会
思春期過敏性腸症候群発症とトラウマの関連—東日本大震災の影響の検討	遠藤 由香	心療内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
消化管知覚の発現機構	庄司 知隆	心療内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
心身症患者の自己評価—神経機構の解明と認知行動療法介入の効果—	佐藤 康弘	心療内科	1,200,000	補委 日本学術振興会
陽極酸化されたチタンニオブスズ合金表面へのアパタイト析出および細胞毒性評価	山田 則一	整形外科	700,000	補委 日本学術振興会
骨折部におけるDickkopf3の発現と機能解析による骨折治癒機構の解明	森 優	整形外科	1,500,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脊髄損傷におけるmTOR阻害薬ラパマイシンの炎症・二次損傷抑制効果の検討	菅野 晴夫	整形外科	1,600,000	補委 日本学術振興会
S.maltophiliaの薬剤感受性および耐性遺伝子に関する分子疫学的研究	金森 肇	総合感染症科	1,800,000	補委 日本学術振興会
精密粒度分布測定による抗菌薬の短時間殺菌能評価法の開発	八田 益充	総合感染症科	1,200,000	補委 日本学術振興会
有床義歯は口腔内カンジダ菌のリスク要因か	菊池 雅彦	総合歯科診療部	1,500,000	補委 日本学術振興会
被災地医療を体験することで医学生は将来地域医療に従事するか？	田畑 雅央	卒後研修センター	1,500,000	補委 日本学術振興会
患者および医療者からの評価に基づいた治療・検査場面における看護行為の検証	門馬 靖武	卒後研修センター	1,200,000	補委 日本学術振興会
高密度脳波及び脳磁図で加算平均法を用いたウェスト症候群の発作焦点同定に関する研究	柿坂 庸介	てんかん科	1,100,000	補委 日本学術振興会
膵β細胞増殖を促す迷走神経由来因子の探索	今井 淳太	糖尿病代謝科	4,500,000	補委 日本学術振興会
肝臓—膵β細胞間神経ネットワークを利用した膵β細胞増量治療の開発	今井 淳太	糖尿病代謝科	1,100,000	補委 日本学術振興会
褐色脂肪組織における熱産生抑制につながる自律神経ネットワーク	突田 壮平	糖尿病代謝科	1,900,000	補委 日本学術振興会
肝臓でのアミノ酸シグナルによる代謝臓器間ネットワークの解明	宇野 健司	糖尿病代謝科	1,600,000	補委 日本学術振興会
発達障害の子どもと養育者のための意思決定支援のガイドラインの開発	井上 由紀子	看護部	600,000	補委 日本学術振興会
結婚形態別にみたNICUにおける父の体験の明確化	坂村 佐知	看護部	1,000,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
化学療法効果増強に向けた微小管動態細胞活性を指標とするがん幹細胞標的治療法	濱中 洋平	乳腺・内分泌外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
入院切迫早産妊婦におけるケアとケアを融合した看護実践ガイドラインの開発	伊藤 直子	看護部	2,000,000	補委 日本学術振興会
糖鎖バイオマーカーによる予後予測で、理想的な前立腺癌治療が提供可能となる	伊藤 明宏	泌尿器科	1,500,000	補委 日本学術振興会
自然免疫機構の皮膚角層バリア機能形成における影響	菊地 克子	皮膚科	1,400,000	補委 日本学術振興会
円形脱毛症発症機序の免疫学的解析	水芦 政人	皮膚科	1,300,000	補委 日本学術振興会
血管肉腫における哺乳類ラパマイシン標的タンパク質経路とオートファジー機構の関与	沼田 透効	皮膚科	1,700,000	補委 日本学術振興会
酸化ストレス応答が皮膚病態に与える影響	加賀谷 早織	皮膚科	1,200,000	補委 日本学術振興会
表皮機能形成過程におけるオートファジーによる小器官リサイクル機構	高橋 隼也	皮膚科	1,100,000	補委 日本学術振興会
IL-8レポーター細胞を用いた微生物毒素簡易定量法の開発	木村 裕	皮膚科	1,200,000	補委 日本学術振興会
核医学画像診断による放射線心筋障害の早期検出のための前向き研究	高浪 健太郎	放射線部	800,000	補委 日本学術振興会
四次元断層撮影画像による肺機能画像の開発と放射線治療への応用	角谷 倫之	放射線診断科	1,300,000	補委 日本学術振興会
乳癌biomarkerとしての3テスラMRI拡散強調画像の撮像法、評価法の確立	森 菜緒子	放射線診断科	2,000,000	補委 日本学術振興会
心臓MRI検査を用いた放射線治療後の心筋変化の検出	梅澤 玲	放射線部	900,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
副腎静脈サンプリングを応用した原発性アルドステロン症の低侵襲根治術用器具開発	高瀬 圭	放射線部	2,200,000	補委 日本学術振興会
3テスラMRIを用いた、日本人のハイリスク頸動脈プラーク性状の解明	大田 英揮	放射線部	500,000	補委 日本学術振興会
呼吸性移動腫瘍に対する四次元放射線治療における投与線量検証システムの開発	藤田 幸男	放射線部	1,300,000	補委 日本学術振興会
アミロイドイメージングを用いたアルツハイマー病画像統計解析法の確立	金田 朋洋	放射線治療科	1,400,000	補委 日本学術振興会
副腎静脈サンプリングにおける超選択的採血システムの開発	清治 和将	放射線部	1,400,000	補委 日本学術振興会
レプリカセム観察によるレジン修復物の長期耐久性と辺縁部劣化の経時的変化	笹崎 弘己	保存修復科	800,000	補委 日本学術振興会
新生児血圧の疫学に関する研究	井上 隆輔	メディカルITセンター	1,200,000	補委 日本学術振興会
ユニバーサルTDMとグローバルメタボロミクスによる高精度薬物治療管理法	眞野 成康	薬剤部	1,500,000	補委 日本学術振興会
周術期肺がん患者における二次元口内気体解析による口腔環境指標の構築	丹田 奈緒子	予防歯科	700,000	補委 日本学術振興会
語彙化錯読の発現機序の解明と訓練手技の開発に関する研究	遠藤 佳子	リハビリテーション部	800,000	補委 日本学術振興会
進行性腎疾患における腎臓リハビリテーションの有効性を加速させる新しい方策の樹立	須田 千尋	リハビリテーション部	1,300,000	補委 日本学術振興会
段ボール製ベッドによる東日本大震災避難者の健康被害の改善、防止効果の検討	奈良 正之	臨床研究推進センター	500,000	補委 日本学術振興会
疫学研究における血縁構造化対策ガイドラインの作成	柴田 恭子	臨床研究推進センター	900,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
食欲と代謝調節に関わるGLP-1反応性遺伝子の同定	野々垣 勝則	臨床研究推進センター	1,400,000	補委 日本学術振興会
東日本大震災後の被災地仮設住宅在住高齢者を対象とした前向きコホート健康調査・研究	沖永 壯治	老年科	700,000	補委 日本学術振興会
高齢者の無症候性脳所見が日常生活機能障害に及ぼす影響の縦断的評価	富田 尚希	老年科	1,000,000	補委 日本学術振興会
糖尿病に着目した腹部大動脈瘤患者の観察研究	深山 紀幸	移植・再建・内視鏡外科	900,000	補委 日本学術振興会
液体パルス噴流による甲状腺手術と神経機能温存のための研究開発	中川 智彦	移植・再建・内視鏡外科	1,700,000	補委 日本学術振興会
粘着シリコーンの接着機構の解明と義歯床粘膜面応用に関する研究	佐藤 奈央子	顎顔面口腔再建治療部	900,000	補委 日本学術振興会
形状記憶材料を用いた新規口腔内形態記録方法の開発	小山 重人	顎顔面口腔再建治療部	800,000	補委 日本学術振興会
口腔癌、前癌病変の効果的診断・治療法の開発基盤	橋元 亘	歯科顎口腔外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
OCP/CollagenとMSCとの複合体による骨再生法の確立	川井 忠	歯科顎口腔外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
多元素添加非晶質リン酸カルシウムコーティング薄膜の創成	横田 聡	歯科顎口腔外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
頸部リンパ節転移の治療のためのリンパ行性薬剤投与システムの開発に向けての検討	森 士朗	歯科顎口腔外科	1,400,000	補委 日本学術振興会
緑内障モデルにおけるカルパイン阻害薬の網膜、中枢神経保護効果の解明	劉 孟林	眼科	1,500,000	補委 日本学術振興会
肺癌における抗アポトーシス蛋白Survivinと抗腫瘍薬への応用	遠藤 千頭	呼吸器外科	1,500,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者外傷の止血能の解析と止血能に関連する新規バイオマーカーの同定	工藤 大介	高度救命救急センター	1,100,000	補委 日本学術振興会
咬合支持喪失に伴う顎口腔系の負荷を可視化するMR画像診断法の確立	山口 哲史	高齢者歯科治療部	1,000,000	補委 日本学術振興会
おいしいという感覚が摂食動作に及ぼす影響の検討	田中 恭恵	高齢者歯科治療部	600,000	補委 日本学術振興会
心不全が脳の構造に及ぼす影響の研究	鈴木 秀明	循環器内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
先進的画像診断・血行動態検査による肺高血圧症の新たな肺循環、右心機能評価法の確立	建部 俊介	循環器内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
冠攣縮の日内変動におけるRhoキナーゼ活性の関与	高橋 潤	循環器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
ウイルス肝癌微小環境のMDSC、TAM、Treg誘導機構解明による治療法開発	近藤 泰輝	消化器内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
肝癌増殖におけるエクソソームを介した機能性RNA輸送機構の解明と治療応用	小暮 高之	消化器内科	2,000,000	補委 日本学術振興会
臨床検体から導き出す膵癌幹細胞関連 miRNAを用いた膵癌治療の確立	菅野 敦	消化器内科	1,500,000	補委 日本学術振興会
P2X7受容体を介したシグナル伝達によるシェーグレン症候群発症機序の解明	伊藤 あゆみ	障害者歯科治療部	1,200,000	補委 日本学術振興会
精神病早期段階における家族の心理的負荷の形成・維持要因の解明	濱家 由美子	精神科	1,200,000	補委 日本学術振興会
ARMSのうつ症状と認知機能の関係についての縦断研究	大室 則幸	精神科	1,200,000	補委 日本学術振興会
環境が及ぼす肥満維持増悪のメカニズムの解明	金子 慶三	糖尿病代謝科	1,500,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脊髄神経腫に対するCEDをもちいた新しい治療法の開発	遠藤 俊毅	脳神経外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
光感受性イオンチャネルを用いた新しい動物てんかんモデルの確立	岩崎 真樹	脳神経外科	2,300,000	補委 日本学術振興会
低強度・高周波振動刺激の骨形成活性効果の電動歯ブラシへの応用	神田 佳明	咬合回復科	900,000	補委 日本学術振興会
低強度・高周波バイブレーションによる骨形成活性効果のインプラントへの応用	小川 徹	咬合回復科	400,000	補委 日本学術振興会
三次元計測に基づく顔面の形態的特徴と患者QOLとの相互連関に関する検討	埜 総司	咬合回復科	800,000	補委 日本学術振興会
NaF-PETによる義歯床下顎堤吸収の長期予後に関する早期診断指針の検討	末永 華子	咬合回復科	1,500,000	補委 日本学術振興会
ポリフェノールの光照射により発揮される新しい感染創傷治療法の提案	白土 翠	咬合修復科	1,100,000	補委 日本学術振興会
歯垢の付着を抑制する歯冠用硬質レジンの開発	泉田 明男	咬合修復科	700,000	補委 日本学術振興会
新しいラジカル殺菌技術の生体安全性評価一発癌リスク評価を中心に一	林 栄成	咬合修復科	1,500,000	補委 日本学術振興会
ジルコニアオールセラミック修復用陶材の強度向上の要件を探る	三浦 賞子	咬合修復科	700,000	補委 日本学術振興会
ヒト染色体逆位モデルマウスを用いたEVI1高発現による白血球幹細胞維持機構の解析	鈴木 未来子	RIセンター	1,500,000	補委 日本学術振興会
ストレス応答性転写因子による代謝・病態制御	山本 雅之	医化学分野	10,800,000	補委 日本学術振興会
紫外線のゲノム毒性に対する皮膚組織レベルの防衛機構の解明	池畑 広伸	医化学分野	3,500,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
GATA転写因子群による腎臓機能維持を介した慢性腎臓病の予防戦略	森口 尚	医化学分野	800,000	補委 日本学術振興会
酸化ストレスシグナルによる幹細胞分化促進と脱分化抑制機構の解明	守田 匡伸	医化学分野	900,000	補委 日本学術振興会
転写因子Nrf1で還元ストレスを解消し、老化関連疾患を予防できるのか？	辻田 忠志	医化学分野	1,800,000	補委 日本学術振興会
マクロファージの炎症促進/抑制に伴う、Nrf2転写因子による状況依存的な転写制御	小林 枝里	医化学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
Nrf2誘導剤による肺発生遺伝子群活性化を利用したiPS細胞からの効率的肺再生	佐藤 大希	医化学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
ストレスセンサーKeap1のエピキチンライゲース活性制御機構の解明	鈴木 隆史	医化学分野	4,400,000	補委 日本学術振興会
酸化ストレスセンサーと選択的蛋白質分解系によるシグナリング複合体の構造と機能	黒河 博文	医化学分野	3,700,000	補委 日本学術振興会
複数の転写活性化領域による選択的遺伝子制御とその破綻による白血病発症機構の解析	山本 雅之	医化学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
医学教育アウトカム評価法としてのカルテピアレビューシステムの確立	亀岡 淳一	医学教育推進センター	1,200,000	補委 日本学術振興会
PRO-CTCAE日本語版の開発と普及に関する研究	山口 拓洋	医学統計学分野	2,000,000	補委 日本学術振興会
RAS/MAPK症候群における遺伝子発現・エピジェネティクス解析	新堀 哲也	遺伝病学分野	800,000	補委 日本学術振興会
BRAF遺伝子変異をもつCFC症候群発症メカニズムの解明	井上 晋一	遺伝病学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
ALS-D(認知症を伴うALS)患者・家族のケアに関する倫理的・社会医学的研究	伊藤 道哉	医療管理学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生体材料透明化による新しい眼科治療技術の開発	田中 佑治	眼科学分野	1,800,000	補委 日本学術振興会
緑内障術後成績向上のための薬剤探索ならびに濾過胞不全に関する因子の同定	渡邊 亮	眼科学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
歯髄細胞を用いた網膜再生治療法の開発	中澤 徹	眼科学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
大規模コホート研究およびレセプトを基盤とした両親の産後うつ要因と弊害の新規抽出	西郡 秀和	環境遺伝医学総合研究センター	1,500,000	補委 日本学術振興会
活性イオウ分子による生体内システインポリスルフィド形成と活性酸素シグナル	赤池 孝章	環境保健医学分野	15,200,000	補委 日本学術振興会
内因性親電子物質を介するレドックスシグナル伝達の制御メカニズム	澤 智裕	環境保健医学分野	4,300,000	補委 日本学術振興会
新規環状ヌクレオチド8-SH-cGMPの生体内動態とその細胞内シグナル機能の解明	井田 智章	環境保健医学分野	2,100,000	補委 日本学術振興会
活性酸素のシグナル伝達機能	赤池 孝章	環境保健医学分野	3,000,000	補委 日本学術振興会
市中で感染したMRSAの薬剤耐性および病原性解析とその治療戦略	矢野 寿一	感染制御・検査診断学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
Translocation defective逆転写酵素阻害剤に対する耐性機序	芦野 有悟	感染病態学分野	200,000	補委 日本学術振興会
タウ蛋白検出PETプローブの臨床応用	岡村 信行	機能薬理学分野	4,300,000	補委 日本学術振興会
小型霊長類マーマセットを用いた分子イメージング薬理学の創生	谷内 一彦	機能薬理学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
α シヌクレイン蛋白選択的PETプローブの探索研究	岡村 信行	機能薬理学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
外傷急性期凝固異常の治療法確立とダメージ関連分子パターンに注目した急性期病態解明	久志本 成樹	救急医学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
低出力体外衝撃波を用いた慢性創傷に対する非侵襲性治療法の開発	今井 啓道	形成外科学分野	900,000	補委 日本学術振興会
ラット下肢同種移植の急性拒絶反応における小胞体ストレス応答	李 陽成	形成外科学分野	700,000	補委 日本学術振興会
慢性創傷におけるNKT細胞機能の解明とその制御による新たな治療法の確立	小和田 雪	形成外科学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
DNA分析による創傷内細菌の迅速同定法の開発	館 正弘	形成外科学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
認知症性疾患における神経ネットワーク破綻に関するマルチモーダル・イメージング研究	森 悦朗	高次機能障害学分野	2600000	補委 日本学術振興会
高齢者の生活習慣の変化が認知機能および海馬萎縮に及ぼす影響	柿崎 真沙子	公衆衛生学分野	600,000	補委 日本学術振興会
被災者における高リスク群の同定:前向きコホート研究	辻 一郎	公衆衛生学分野	1,800,000	補委 日本学術振興会
脳腸関連の病態生理における脳腸ペプチドの役割	福土 審	行動医学分野	4,500,000	補委 日本学術振興会
過敏性腸症候群のエンドフェノタイプに対する感受性遺伝子とストレスの影響	福土 審	行動医学分野	900,000	補委 日本学術振興会
肺組織幹細胞への再分化転換機構を応用した炎症性肺疾患の新規治療法の開発	菊地 利明	呼吸器内科学分野	3,100,000	補委 日本学術振興会
EGFR(上皮成長因子受容体)遺伝子変異陽性肺癌の分子遺伝学的発生源の解明	菊地 利明	呼吸器内科学分野	900,000	補委 日本学術振興会
可変圧負荷安静呼吸フロー測定装置の開発	小川 浩正	呼吸器内科学分野	2,700,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
TRPV-1活性に対する気道分泌反応からみた化学物質過敏症の病態解明	色川 俊也	呼吸器内科学分野	900,000	補委 日本学術振興会
遺伝子改変マウスを応用した肺胞上皮幹細胞の同定	山田 充啓	呼吸器病態学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
同種異系移植後閉塞性細気管支炎におけるヒトヘルペスウイルス6型関与の検討	西巻 雄司	呼吸器病態学分野	800,000	補委 日本学術振興会
統合失調症での情動刺激への注意・認知と社会生活機能との関連	宮澤 志保	災害精神医学分野	600,000	補委 日本学術振興会
統合失調症での情動刺激への注意・認知と社会生活機能との関連	丸山 芳夫	細胞生理学分野	600,000	補委 日本学術振興会
発生腎および再生腎に発現するK ⁺ チャンネルの生理的意義について	風間 逸郎	細胞生理学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
細胞増殖の起点となる核酸代謝の亢進のメカニズムの解明	長嶋 剛史	細胞増殖制御分野	3,600,000	補委 日本学術振興会
生体由来ヒト多能性幹細胞の特性解析と再生医療への応用の可能性	出沢 真理	細胞組織学分野	2,500,000	補委 日本学術振興会
オタマジャクシ・カエル・ラットの比較による脊髄再生促進因子の探索	北田 容章	細胞組織学分野	4,500,000	補委 日本学術振興会
プラナリアとヒトの生体内多能性幹細胞の共通機構の解明	出沢 真理	細胞組織学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
経強膜マルチドラッグデリバリーによる神経網膜保護研究	永井 展裕	細胞治療分野	6,200,000	補委 日本学術振興会
ロービジョン者のための眼球運動訓練ツールの開発と効果の検証	鈴嶋 よしみ	肢体不自由学分野	300,000	補委 日本学術振興会
味覚誘発脳磁界反応を利用した鼓索神経障害の他覚的評価と予後診断	山内 大輔	耳鼻咽喉・頭頸外科学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
EMTによる頭頸部癌悪性化および癌幹細胞活性化機構の解析	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸外科学分野	1,000,000	補委 日本学術振興会
c-Met遺伝子機能解析による子宮体部漿液性腺癌に対する新たな分子標的薬開発	丹野 純香	周産期医学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
クルクミンを用いた子宮平滑筋肉腫治療法の開発	築地 謙治	周産期医療人材養成寄附講座	1,000,000	補委 日本学術振興会
乳癌HER familyの高感度ナノ量化による分子標的治療効果予測の基盤整備	大内 憲明	腫瘍外科学分野	11,800,000	補委 日本学術振興会
生体組織内を伝播する衝撃波の挙動解明に向けた各種媒体の状態方程式の決定	山本 裕朗	循環器先端医療開発学寄附講座	1,900,000	補委 日本学術振興会
低出力体外衝撃波治療による抗炎症作用の機序解明:急性心筋梗塞モデルにおける検討	伊藤 健太	循環器先端医療開発学寄附講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
右心不全の発症進展における右室線維化/Rhoキナーゼ経路の関与の解明	福本 義弘	循環器内科学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
新規抗凝固薬のRhoキナーゼ/サイクロフィリンA阻害作用による多面的作用の可能性	下川 宏明	循環器内科学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
SREBP発現における十二指腸空腸バイパスの意義-NAFLD治療の新たな選択肢-	内藤 剛	消化器外科学分野	1,800,000	補委 日本学術振興会
癌微小環境におけるRhoA関連蛋白質GCF2の発現制御と転移浸潤メカニズムの解析	大塚 英郎	消化器外科学分野	2,300,000	補委 日本学術振興会
大腸全摘および回腸囊肛門吻合術後の回腸囊粘膜変化の解明	渡辺 和宏	消化器外科学分野	900,000	補委 日本学術振興会
膵星細胞による膵癌幹細胞stemness制御機構の解明とその治療応用	正宗 淳	消化器病態学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
膵幹細胞・前駆細胞nicheをターゲットにした膵疾患の二次予防法の開発	菊田 和宏	消化器病態学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肺癌微小環境中の炎症持続因子の同定と治療応用	濱田 晋	消化器病態学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
プロテオーム解析による五十肩の病態解明と新規治療・診断法の開発	萩原 嘉廣	上肢運動器学寄附講座	2,500,000	補委 日本学術振興会
腸管マクロファージをターゲットとした新たな小腸移植免疫抑制療法の検討	仁尾 正記	小児外科学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
全ゲノム相関解析により見出したモヤモヤ病感受性遺伝子RNF213の機能探査	呉 繁夫	小児病態学分野	3,600,000	補委 日本学術振興会
アミノ酸補充療法が適応になる自閉症・てんかん症候群のスクリーニング・診断系の確立	坂本 修	小児病態学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
機能的有機銅錯体を用いたMenkes病に対する新しい治療法の開発	宗形 光敏	小児病態学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
HPMR症候群(高アルカリフォスファターゼ血症-発達遅滞症候群)の原因遺伝子解析	藤原 幾磨	小児病態学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
モヤモヤ病発症リスクの評価を可能にする遺伝子診断法の開発	呉 繁夫	小児病態学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
ARTに用いる精子のゲノムインプリンティングの網羅的解析と異常の原因解明	有馬 隆博	情報遺伝学分野	4,200,000	補委 日本学術振興会
ヒト不妊症精子におけるメチル化インプリントの異常と分子機構の解析	宮内 尚子	情報遺伝学分野	900,000	補委 日本学術振興会
大規模災害によるストレスと母児健康リスクに関する実証的研究	佐藤 芙美	情報遺伝学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
胎盤形成における胎盤特異的インプリント遺伝子のエピゲノム分子機構とヒト胎盤異常	有馬 隆博	情報遺伝学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
腎ミトコンドリア酸化ストレスをターゲットとした慢性腎臓病の治療戦略の開発	森 建文	腎・高血圧・内分泌学分野	7,100,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
(プロ)レニン受容体を介した脳・心血管・腎臓障害進展メカニズムの解明	廣瀬 卓男	腎・高血圧・内分泌学分野	1,900,000	補委 日本学術振興会
PETによる腎臓の新規画像評価法の確立	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	800,000	補委 日本学術振興会
グリアの発する信号が神経活動・行動に及ぼす影響を探索	松井 広	新医学領域創生分野	2,100,000	補委 日本学術振興会
慢性低酸素に対する生体恒常性維持の分子機構	鈴木 教郎	新医学領域創生分野	600,000	補委 日本学術振興会
HSP90と協同因子を用いた新規プリオン複製試験管内再構成系の構築	逆瀬川 裕二	神経化学分野	900,000	補委 日本学術振興会
プリオン増殖阻害に関わるエピゲノム遺伝子制御の解明	堂浦 克美	神経化学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
内頸動脈閉塞におけるリアルタイム脳血流量評価法の開発	佐藤 健一	神経外科学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
数値流体解析に基づく脳動脈瘤壁性状診断、破裂リスク予知と、治療への応用	新妻 邦泰	神経外科学分野	9,100,000	補委 日本学術振興会
免疫誘導・作用の場を考慮した脳腫瘍に対する新規免疫治療法の開発	齋藤 竜太	神経外科学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
パーキンソン病認知症の早期診断法確立と治療介入に関する研究	武田 篤	神経内科学分野	3,300,000	補委 日本学術振興会
FUS遺伝子変異によるALS運動ニューロンRNA病態の解明	青木 正志	神経内科学分野	5,300,000	補委 日本学術振興会
グリア新生と血管新生の両者を標的としたALS脊髄再生誘導	割田 仁	神経内科学分野	800,000	補委 日本学術振興会
NOGマウスを用いた抗アクアポリン4抗体産生モデルの作製	鈴木 千尋	神経内科学分野	900,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
シヌクレイノパチーの分子イメージング	武田 篤	神経内科学分野	4,300,000	補委 日本学術振興会
封入体を伴う筋疾患の大家系における新規原因遺伝子の探索	青木 正志	神経内科学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
新たな神経変性疾患のバイオマーカーとしてのmicroRNA	武田 篤	神経内科学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
超音波小型硬さセンサを用いた心筋虚血モニタリングシステムの開発	渋谷 拓見	心臓血管外科学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
レーザードップラによる三次元的流体解析を用いた右室流出路再建の評価	崔 禎浩	心臓血管外科学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
大動脈瘤形成における菌周病菌関与の解明	齋木 佳克	心臓血管外科学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
脊髄損傷に対する低出力衝撃波治療効果の検討	小澤 浩司	整形外科学分野	300,000	補委 日本学術振興会
ARMSにおける社会的認知と機能予後との関係	伊藤 文晃	精神神経学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
他者の意図の内部モデルを実現する神経機構のシステムの・分子生物学的研究	松坂 義哉	生体システム生理学分野	5,200,000	補委 日本学術振興会
EnvyとSchadenfreudeの動物実験モデルと情動系の細胞活動	嶋 啓節	生体システム生理学分野	2,200,000	補委 日本学術振興会
主課題と割込み課題からなる二重課題の遂行に関与する内側・外側高次運動野の機能連関	嶋 啓節	生体システム生理学分野	4,800,000	補委 日本学術振興会
胃内寒冷受容体刺激の結腸運動亢進・排便誘発効果を応用した経口排便誘発剤の開発	柴田 近	生体調節外科学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
回腸囊炎は潰瘍性小腸炎であるという仮説に基づいた潰瘍性大腸炎起炎菌の同定の試み	神山 篤史	生体調節外科学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自然免疫応答を制御するヘム-Bach 遺伝子ネットワークの解明	五十嵐 和彦	生物化学分野	4,800,000	補 委 日本学術振興会
遺伝子ネットワークによる形質細胞分 化の調節プロセスの解明	武藤 哲彦	生物化学分野	1,600,000	補 委 日本学術振興会
細胞分化を制御する連鎖的遺伝子発 現ネットワークのダイナミクス	落合 恭子	生物化学分野	1,700,000	補 委 日本学術振興会
ヘムによる自然免疫応答調節とその意 義の解明	松井 美紀	生物化学分野	1,600,000	補 委 日本学術振興会
メチオニン代謝回路とエピゲノムの共 役機構とそのがん化への関与	五十嵐 和彦	生物化学分野	20,100,000	補 委 日本学術振興会
エピゲノム制御によるDNA損傷修復機 構と細胞分化	落合 恭子	生物化学分野	1,500,000	補 委 日本学術振興会
質的量的変動を指標とする細胞分化 制御転写因子・クロマチン因子の網羅 的同定法の開発	五十嵐 和彦	生物化学分野	1,500,000	補 委 日本学術振興会
インフルエンザの進入部位を標的とし た感染誘発気管支喘息発作の新規治 療法の開発	山谷 睦雄	先進感染症予防学寄 附講座	1,500,000	補 委 日本学術振興会
難治性肺疾患における肺胞構成細胞 機能解析	久保 裕司	先進感染症予防学寄 附講座	4,000,000	補 委 日本学術振興会
オートタキシン阻害によって肺移植後 の閉塞性細気管支炎の抑制を目指し た基礎研究	丹藤 由希子	先進感染症予防学寄 附講座	1,200,000	補 委 日本学術振興会
一酸化炭素局所投与による熱傷後敗 血症の生存率向上効果の検討	赤松 順寛	先進外科学分野	1,800,000	補 委 日本学術振興会
チロシンキナーゼ型受容体の超高精 度蛍光イメージングによる肝細胞がん 組織診断法開発	原 康之	先進外科学分野	1,300,000	補 委 日本学術振興会
門脈再建に臨床応用可能となる数値 流体力学解析を用いた門脈血行動態 に関する基礎研究	福島 大造	先進外科学分野	1,200,000	補 委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
化学療法効果増強に向けた微小管動態細胞活性を指標とするがん幹細胞標的治療法	濱中 洋平	先進外科学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
新規パルスジェットメスによる胸腔鏡下反回神経機能温存手術の研究	宮田 剛	先進外科学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
シミュレータとシナリオベーストレーニングによるアウトカム重視学習プログラムの開発	加賀谷 豊	総合地域医療研修センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
クローン病難治化と粘膜内リンパ球におけるエビジェネティクス制御異常	志賀 永嗣	総合地域医療研修センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
ヒト前立腺癌のホルモン不応性獲得におけるセロトニンの役割と新たな治療標的の可能性	中村 保宏	総合地域医療研修センター	1,000,000	補委 日本学術振興会
ヒト前立腺癌のホルモン不応性獲得におけるセロトニンの役割と新たな治療標的の可能性	熊谷 紀一郎	大動脈疾患治療開発学寄附講座	1,800,000	補委 日本学術振興会
変異型イソクエン酸デヒドロゲナーゼの分子生物学的解析とその臨床応用	加藤 幸成	大動脈疾患治療開発学寄附講座	2,300,000	補委 日本学術振興会
X線結晶構造解析によるペプチドトランスポーターの基質輸送機構の解明	小笠原 諭	地域イノベーション分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
腫瘍環境における慢性炎症・免疫細胞の機能解析と癌治療への応用	城田 英和	地域がん医療推進センター	1,600,000	補委 日本学術振興会
てんかん難治化における睡眠構築の異常と自律神経障害の影響	神 一敬	てんかん学分野	2,500,000	補委 日本学術振興会
鎮静を用いない小児脳磁図計測技術の開発	中里 信和	てんかん学分野	2,500,000	補委 日本学術振興会
胆道癌微小転移に対する間葉系幹細胞を用いた癌標的治療の開発	片寄 友	統合癌治療外科学寄附講座	1,200,000	補委 日本学術振興会
外部環境に対応する臓器間代謝情報ネットワークメカニズムの解明	片桐 秀樹	糖尿病代謝内科学分野	8,800,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
臓器間神経ネットワークによる糖・エネルギー代謝調節の分子機構	片桐 秀樹	糖尿病代謝内科学分野	13,200,000	補委 日本学術振興会
Nrf2を介した慢性炎症応答制御による動脈硬化症進行機構の解明	原田 伸彦	動物実験施設	1,400,000	補委 日本学術振興会
腎臓リハビリテーション:有効性の機序解明と臨床応用	上月 正博	内部障害学分野	10,100,000	補委 日本学術振興会
リハビリテーション運動療法の多面的効果における臓器連関の機序解明	伊藤 修	内部障害学分野	4,100,000	補委 日本学術振興会
心臓リハビリテーションにおける運動療法:臓器保護効果の機序解明	森 信芳	内部障害学分野	3,400,000	補委 日本学術振興会
心不全・呼吸不全患者に対する、電気刺激療法によるストレス改善効果の検討	長坂 誠	内部障害学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝疾患への包括的リハビリテーションの有効性の確立	伊藤 修	内部障害学分野	1,000,000	補委 日本学術振興会
電気刺激による筋力維持・廃用防止と膀胱機能改善効果の確立:リハビリ療法の新展開	上月 正博	内部障害学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
発作性心房細動患者の身体機能とQOL向上目的のリハビリテーションと運動負荷試験	森 信芳	内部障害学分野	2,100,000	補委 日本学術振興会
身体非活動性と全身炎症—慢性呼吸器疾患における運動の抗炎症効果の解明	黒澤 一	内部障害リハ科	6,300,000	補委 日本学術振興会
生体内血管新生イメージングを基盤とした革新的新生血管誘導療法の開発	濱田 庸	ナノ医科学寄附講座	1,200,000	補委 日本学術振興会
有袋類における頭部神経堤/顎原基のヘテロクロニ的発生メカニズムの解明	若松 義雄	発生発達神経科学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
脳血管障害によるストレス脆弱性の病態基盤の解明	吉崎 嘉一	発生発達神経科学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経細胞分化制御と層特異的投射の分子機構	大隅 典子	発生発達神経科学分野	15,000,000	補委 日本学術振興会
耳プラコード発生におけるユニークな上皮内細胞動態の解析	若松 義雄	発生発達神経科学分野	3,500,000	補委 日本学術振興会
マウス音声コミュニケーションの神経生物学的基盤の解析	大隅 典子	発生発達神経科学分野	1,900,000	補委 日本学術振興会
アジアにおけるインフルエンザウイルスのトランスミッションダイナミクスと進化	押谷 仁	微生物学分野	7,800,000	補委 日本学術振興会
次世代行列(NGM)を利用したインフルエンザ感染モデルの開発研究	神垣 太郎	微生物学分野	7,800,000	補委 日本学術振興会
ニューロバイオニクスの作用機序として血流増加作用の原理の解明-基礎・臨床的検討-	中川 晴夫	泌尿器科学分野	5,300,000	補委 日本学術振興会
排尿症状からみた高齢者の死亡率・要介護認定との関連-大規模疫学調査から-	浪間 孝重	泌尿器科学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
原発性アルドステロン症:超選択的副腎静脈サンプリングに基づく機能温存手術の探求	石戸谷 滋人	泌尿器科学分野	1,900,000	補委 日本学術振興会
骨盤内手術による勃起障害メカニズムの解明と新たなニューロエンジニアリングの開発	山下 慎一	泌尿器科学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
前立腺全摘術後の性機能・尿失禁リハビリテーション	荒井 陽一	泌尿器科学分野	600,000	補委 日本学術振興会
糖鎖生物学を利用した膀胱癌に対する新規膀胱内注入療法の開発	三塚 浩二	泌尿器科学分野	700,000	補委 日本学術振興会
炎症性皮膚疾患における皮膚自然免疫機構の役割	山崎 研志	皮膚科学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
骨髄由来抑制細胞をターゲットとした悪性黒色腫新規免疫療法の開発	藤村 卓	皮膚科学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
BSE(牛海綿状脳症)由来vCJDプリオン高感度検出法の臨床応用研究	北本 哲之	病態神経学分野	11,100,000	補委 日本学術振興会
PMCA法によるクロイツフェルト・ヤコブ病の新しいタイピング	竹内 敦子	病態神経学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
MV2プリオンをもつ弧発性クロイツフェルト・ヤコブ病の新分類法	北本 哲之	病態神経学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
乳癌病理組織検体を用いてエストロゲン受容体ヘテロ/ホモダイマーの検出は可能か否か	笹野 公伸	病理診断学分野	1,800,000	補委 日本学術振興会
ハイスループットスクリーニングを利用した、婦人科がん薬剤耐性克服に向けた治療戦略	八重樫 伸生	婦人科学分野	4,300,000	補委 日本学術振興会
機能的ゲノム解析による卵巣がんの新規治療標的の模索	豊島 将文	婦人科学分野	1,000,000	補委 日本学術振興会
卵巣癌におけるエピゲノム変異制御因子と標的分子の同定	八重樫 伸生	婦人科学分野	500,000	補委 日本学術振興会
転写活性化部位の特性による標的遺伝子選択性とその破綻による白血病発症機構の解析	金子 寛	分子血液学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
新たな翻訳後修飾の同定	横山 敦	分子内分泌学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
PAI-1阻害薬の抗炎症効果に関する分子薬理学的解析	市村 教彦	分子病態治療学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
S100A4の制御による膀胱癌、肺癌の浸潤、転移の抑制法の開発	堀井 明	分子病理学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
がん細胞におけるDNA脱メチル化技術の開発と早期診断バイオマーカー探索への応用	福重 真一	分子病理学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
iPS細胞の腫瘍形成の原因である「不均一性の排除」に関する研究	佐藤 岳哉	分子薬理学分野	1,000,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
GPCRシグナル複合体の細胞内配置に関する時空間制御機構の解明	柳澤 輝行	分子薬理学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
キャッチャーズを応用した薬毒物分析の迅速化と信頼性の確保	白井 聖尊	法医学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
放射線心筋障害に対するNa利尿ペプチド製剤の予防効果に関する基礎的研究	神宮 啓一	放射線腫瘍学分野	500,000	補委 日本学術振興会
ATM阻害による放射線抵抗性のG0期癌細胞・癌幹細胞の放射線増感法の開発	細井 義夫	放射線生物学分野	800,000	補委 日本学術振興会
放射線照射によって概日リズム関連遺伝子発現が変化するメカニズムの解明	上原 芳彦	放射線生物学分野	900,000	補委 日本学術振興会
Notch遺伝子を介した腸上皮化生進展過程における特異な胃癌幹細胞誘導機構の解明	今谷 晃	保健学専攻 成人看護学分野	900,000	補委 日本学術振興会
トロポニンCのカルシウム親和性が不整脈の頻拍周期の決定に果たす役割の解明	三浦 昌人	保健学専攻 臨床生理検査学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
次世代型4次元画像誘導放射線治療のための高精度リアルタイム適応追尾照射法の開発	本間 経康	保健学科 医用画像工学分野	3,800,000	補委 日本学術振興会
エピジェネティック異常の超高精度蛍光イメージングによるがん悪性度診断法開発	権田 幸祐	保健学科 医用物理学分野	4,300,000	補委 日本学術振興会
がんリンパ行性転移の分子機構解明に基づく新治療法創発	権田 幸祐	保健学科 医用物理学分野	14,900,000	補委 日本学術振興会
リンパ浮腫治療・ケア領域におけるEBP(証拠に基づく実践)のための臨床研究	吉沢 豊予子	保健学科 ウィメンズヘルス看護学分野	4,100,000	補委 日本学術振興会
深部静脈血栓予防を考慮したC/S褥婦へのフットレスト予防ケア介入の検討	吉沢 豊予子	保健学科 ウィメンズヘルス看護学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
助産師外来で活用できる妊娠期アセスメントツールの開発と実用化に向けたシステム構築	中村 康香	保健学科 ウィメンズヘルス看護学分野	800,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
回転収縮運動を考慮した3次元的心機能評価法の開発に関する研究	齋藤 春夫	保健学科 画像解析学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
IVRにおけるリアルタイム式皮膚表面放射線量測定システムの開発	細貝 良行	保健学科 画像解析学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
デジタルマンモグラフィソフトコピー標準化に関する研究	石橋 忠司	保健学科 画像診断学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
日本人・中国少数民族の出生体重と高血圧発症に関する調査研究	丸山 良子	保健学科 看護アセスメント学分野	2,300,000	補委 日本学術振興会
褥瘡・慢性創傷の炎症遷延に関わるダメージ関連分子の同定と炎症制御ケア技術の確立	菅野 恵美	保健学科 看護アセスメント学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
超高齢者の安全な早期離床のための評価指標の開発	丸山 良子	保健学科 看護アセスメント学分野	500,000	補委 日本学術振興会
マウスモデルを用いたエイズ合併クリプトコックス症の内因性再燃発症に関する研究	川上 和義	保健学科 感染分子病態解析学分野	3,300,000	補委 日本学術振興会
マグネタイト・ナノ粒子を用いた新規結核ワクチン開発のための基礎的研究	川上 和義	保健学科 感染分子病態解析学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
がん患者に対する緩和医療の質の評価方法の確立	宮下 光令	保健学科 緩和ケア看護学分野	4,400,000	補委 日本学術振興会
終末期ケアに関わる看護師主導型の各種臨床的・パスの評価	宮下 光令	保健学科 緩和ケア看護学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
乳がん体験者の術後上肢機能障害予防改善に向けた長期介入の効果	佐藤 富美子	保健学科 がん看護学分野	900,000	補委 日本学術振興会
統合失調症患者の口腔衛生に関する意識・知識・自己管理の現状と衛生指導要項の確立	吉井 初美	保健学科 精神看護学分野	800,000	補委 日本学術振興会
緩和ケア病棟における終末期リハビリテーション導入体制確立に関する研究	菊地 史子	保健学科 成人看護学分野	800,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
被災地難病患者のための統合医療生活支援システムの構築に関する研究	高橋 香子	保健学科 地域ケアシステム看護学分野	1,900,000	補委 日本学術振興会
ストレス関連ホルモンと乳がん罹患・予後に関する分析疫学研究	南 優子	保健学科 地域保健学分野	3,400,000	補委 日本学術振興会
転写調節不均衡による前白血球状態形成機構の解析	清水 律子	保健学科 分子血液学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
副腎アルドステロン合成酵素の発現制御を基盤とした糖尿病性腎症の新規治療法の開発	菅原 明	保健学科 分子内分泌学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
吸入剤による呼吸筋収縮増強効果の検討とその機序の解明	進藤 千代彦	保健学科 臨床生理検査学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
高齢者の予想される死における看護職の看取り教育プログラム開発	川原 礼子	保健学科 老年保健看護学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
排尿習慣化訓練の適応基準とプロトコールの開発	坂川 奈央	保健学科 老年保健看護学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
PET脳機能を高精度に定量画像化する形態・解剖情報を用いた画像解析システム	志田原 美保(古本美保)	保健学科 医用物理学分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
圧縮センシングによるMR高速撮像:実用化のための問題点探索と施策開発	町田 好男	保健学科 画像情報学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
高血圧治療における費用効用分析ー国民医療費の低下を目指してー	佐藤 美帆	保健学科 画像診断学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
死亡時画像診断(Autopsy imaging)における溺水診断	川住 祐介	保健学科 画像診断学分野	600,000	補委 日本学術振興会
中国における高病原性クリプトコックス・ガッティ感染症の浸淫状況に関する調査研究	川上 和義	保健学科 感染分子病態解析学分野	2,200,000	補委 日本学術振興会
新興クリプトコックス・ガッティ感染症における高病原性機序の解析	石井 恵子	保健学科 感染分子病態解析学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
看護職員の職業移動と心理社会的／ 経済的要因に関する縦断的研究	朝倉 京子	保健学科 看護教育・ 管理学分野	3,500,000	補 委 日本学術振興会
看護師の離職意向を規定する要因に ついての検討—心理・社会的、経済的 視点から	佐藤 みほ	保健学科 看護教育・ 管理学分野	1,300,000	補 委 日本学術振興会
在宅緩和ケアの質の簡便な評価方法 の開発	佐藤 一樹	保健学科 緩和ケア 看護学分野	1,000,000	補 委 日本学術振興会
地方における看護教育制度成立過程 の研究	小山田 信子	保健学科 周産期看 護学分野	500,000	補 委 日本学術振興会
看護師による心理・社会的介入プログ ラムの開発	光永 憲香	保健学科 精神看護 学分野	700,000	補 委 日本学術振興会
被災地保健師のエンパワメントとコミュ ニティ再生に関する研究	末永 カツ子	保健学科 地域ケア システム看護学分野	600,000	補 委 日本学術振興会
東北地方被災地域における高齢者の 社会的孤立に関する実証的研究	栗本 鮎美	保健学科 地域ケア システム看護学分野	400,000	補 委 日本学術振興会
男子乳癌におけるエストロゲン作用の 解明—内分泌療法の向上を目指して	高木 清司	保健学科 病理検査 学分野	1,800,000	補 委 日本学術振興会
転移・再発乳癌におけるエストロゲン作 用の解明:内分泌療法の向上をめざし て	鈴木 貴	保健学科 病理検査 学分野	1,400,000	補 委 日本学術振興会
環境にやさしい化学実験の学校への 導入	荻野 和子	保健学科 分子機能 解析学分野	1,000,000	補 委 日本学術振興会
心臓IVR及び心臓CTにおける総合被 曝線量管理法の開発	加藤 守	保健学科 放射線検 査学分野	1,300,000	補 委 日本学術振興会
強度変調放射線治療の強度分布を真 に逆問題として解くための新手法の研 究	土橋 卓	保健学科 放射線治 療学分野	1,100,000	補 委 日本学術振興会
定年退職後の高齢男性を対象とした地 域活動への参加支援プログラムの開発	齋藤 美華	保健学科 老年保健 看護学分野	700,000	補 委 日本学術振興会

計 13.

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経ブロックの効果と解剖学的検討	山内 正憲	麻酔科学・周術期医学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
異なる全身麻酔薬による免疫細胞アポトーシス誘導の強弱はなぜ生じるのか	黒澤 伸	麻酔科学・周術期医学分野	2,300,000	補委 日本学術振興会
OX40とIL-7による記憶T細胞恒常性維持機構の解明	石井 直人	免疫学分野	4,500,000	補委 日本学術振興会
Th17およびTfh分化に及ぼすTRAF5の抑制作用の解明	宗 孝紀	免疫学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
NOGマウスを用いた画期的なヒト白血病モデルの開発	石井 直人	免疫学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
シナプスの保護における分子基盤の探求	森藤 暁	網膜疾患制御学寄附講座	1,800,000	補委 日本学術振興会
母体低栄養マウス胎仔を用いた虚血再灌流時の低酸素遺伝子応答解析	伊藤 拓哉	融合医工学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
先天性小耳症・外耳道閉鎖症を引き起こす発現遺伝子の網羅的解析	船本 聖絵	融合医工学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
慢性経過する精神病発症リスク状態の病態を明らかにする縦断追跡研究	松本 和紀	予防精神医学寄附講座	1,500,000	補委 日本学術振興会
東日本大震災の被災看護師を対象としたメンタルヘルスについての縦断追跡研究	高橋 葉子	予防精神医学寄附講座	1,100,000	補委 日本学術振興会
3tesla脳MRIによる治療後グリオーマの腫瘍再発と放射線壊死/非再発の鑑別	高橋 昭喜	量子診断学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
バーチャル・リアリティー下MRI検査: 心理的検討と閉所恐怖症・小児例への臨床応用	麦倉 俊司	量子診断学分野	800,000	補委 日本学術振興会
卒前教育が医学科学生の外科医志望に及ぼす影響の質的研究	石井 誠一	医学教育推進センター	1,000,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
感染症危機管理地域ネットワークの開発研究	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	700,000	補委 日本学術振興会
無細胞合成系によるフッ素18新規ポジトロン標識蛋白質の開発	渋谷 勝彦	機能薬理学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
免疫淘汰圧に相乗効果を示す抗ウイルス剤の開発	児玉 栄一	機能薬理学分野	4,400,000	補委 日本学術振興会
耐性機序を標的とした抗HIV剤の基礎的研究	児玉 栄一	宮城地域医療支援寄附講座	1,800,000	補委 日本学術振興会
リハビリテーション運動療法における一酸化窒素系および交感神経系の役割の解明	伊藤 大亮	宮城地域医療支援寄附講座	2,000,000	補委 日本学術振興会
新興住宅地の向老期世代を対象とした“地域への愛着”を育む健康推進プログラムの開発	大森 純子	公衆衛生看護学分野	2,500,000	補委 日本学術振興会
脳機能画像を用いた内臓感覚の記憶と認知変容過程の研究	鹿野 理子	行動医学分野	500,000	補委 日本学術振興会
過敏性腸症候群のストレス応答を規定する神経免疫学的基盤の解明	金澤 素	行動医学分野	1,000,000	補委 日本学術振興会
過敏性腸症候群のストレス反応とその治療	森下 城	行動医学分野	300,000	補委 日本学術振興会
抗新生血管治療のテーラーメイド化	石川 有美(鵜田有美)	細胞治療分野	700,000	補委 日本学術振興会
小胞体膜における、KCa1.1チャンネルの特異的な配向を決定する因子の同定	村田 喜理	細胞生理学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
マウス生体由来多能性幹細胞(Muse細胞)の発生学的解析	若尾 昌平	細胞組織学分野	1,000,000	補委 日本学術振興会
細胞分化における基本転写因子の新規制御機構の解明	中川 直	細胞増殖制御分野	1,100,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がん原遺伝子RASの新しい遺伝子サイレンシング機能の解明	舟山 亮	細胞増殖制御分野	1,700,000	補委 日本学術振興会
見えない脳外傷の描出と経時的変化の検討～高次脳機能障害とADLとの関連について～	杉山 謙	肢体不自由学分野	800,000	補委 日本学術振興会
RNAiを用いた緑内障に関連する神経保護機能遺伝子の探索・同定	藤田 幸輔	視覚先端医療学寄附講座	1,100,000	補委 日本学術振興会
マウス蝸牛におけるAPC蛋白の発現の検討ーアクチン配列の制御と障害回復との関係ー	香取 幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
残存聴力温存を目的とした新規人工内耳モデルの確立	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	2,900,000	補委 日本学術振興会
蝸牛における脂肪酸シグナルと老人性難聴	高田 雄介	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	1,000,000	補委 日本学術振興会
耳管腺の分泌機構の解明とその制御＝難治性中耳疾患の治療戦略＝	大島 猛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
組換え体乳酸菌を用いた頭頸部進行・再発癌に対する遺伝子治療の開発と臨床応用	浅田 行紀	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
子宮内膜癌における新規レチノイン酸受容体標的遺伝子の同定とその機能解析	宇都宮 裕貴	周産期医療人材養成寄附講座	600,000	補委 日本学術振興会
ネットワーク解析を用いた心不全リスク要因の探索	宮田 敏	循環器EBM開発学寄附講座	900,000	補委 日本学術振興会
心房細動における導出18誘導心電図の臨床的有効性に関する研究	魏 大名	循環器内科学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
胎盤特異的インプリント遺伝子Gab1の胎盤における機能解析	岡江 寛明	情報遺伝学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
右心不全に対する人工心筋を用いた全植え込み型右心補助デバイスの開発	増田 信也	心臓血管外科学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規のレーザー衝撃波液体ジェットメスの心臓血管外科領域への応用開発	川本 俊輔	心臓血管外科学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
間欠的低酸素環境下での代謝系を介した転写制御機構の解明	鈴木 教郎	新医学領域創生分野	3,800,000	補委 日本学術振興会
低侵襲生体内グリア活動の可視化による神経からグリアへの信号伝達経路の解析	松井 広	新医学領域創生分野	3,600,000	補委 日本学術振興会
超高磁場MRIによる非侵襲的定量的脳循環代謝評価	井上 敬	神経外科学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
脊髄への定位的局所薬剤送達方法の開発	杉山 慎一郎	神経外科学分野	1,900,000	補委 日本学術振興会
パルスジェットメスによる末梢神経機能温存下拡大経蝶形骨洞腫瘍摘出法の開発	小川 欣一	神経外科学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
もやもや病におけるFoxp3陽性制御型T細胞の役割についての検討	藤村 幹	神経病態制御学	1,500,000	補委 日本学術振興会
カルボニルストレスをターゲットとした病態特異的なバイオマーカー探索	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学 分野	3,300,000	補委 日本学術振興会
オブジェクト操作と動作のカテゴリー化の脳内表現	虫明 元	生体システム生理学 分野	2,600,000	補委 日本学術振興会
早期統合失調症に対する認知リハビリテーションの効果、およびその神経基盤の解明	松岡 洋夫	精神神経学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
ヒト気道上皮細胞を用いたインフルエンザウイルス感染重症化判別法の開発	山谷 睦雄	先進感染症予防学寄 附講座	900,000	補委 日本学術振興会
進行非小細胞肺癌に対する腫瘍微小循環促進剤併用化学療法の橋渡し研究	安田 浩康	先進感染症予防学寄 附講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
ヒト肺胞上皮前駆細胞の分化を制御するmicroRNAの同定	藤野 直也	先進感染症予防学寄 附講座	1,100,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肥満が引き起こす膵β細胞障害におけるKeap1-Nrf2システムの役割	宇留野 晃	創薬科学(持田製薬)寄附講座	1,800,000	補委 日本学術振興会
脳機能障害患者の排便障害に対する大建中湯、温熱療法の効果の検討	高山 真	総合地域医療研修センター	1,100,000	補委 日本学術振興会
白斑症治療を目的とした幹細胞からの色素細胞誘導とメラニン産生・蓄積制御機構の検討	土山 健一郎	総合地域医療研修センター(皮膚科学分野)	1,100,000	補委 日本学術振興会
県内全リンパ腫登録を基盤として原発の影響と低頻度亜型の解析を行う臨床病理学的研究	一迫 玲	造血器病理学寄附講座	1,100,000	補委 日本学術振興会
アストロサイト病変モデルにおける二次性脱髄機序の解明	三須 建郎	多発性硬化症治療学寄附講座	1,400,000	補委 日本学術振興会
BAP1異変による食道癌発癌の機構解明と分子標的薬適応の可能性の検討	森 隆弘	地域がん医療推進センター	1,100,000	補委 日本学術振興会
過栄養時のエネルギー消費節約機構による肥満発症メカニズムの解明	山田 哲也	糖尿病代謝内科学分野	600,000	補委 日本学術振興会
CNV関連糖尿病の疾患概念の構築	片桐 秀樹	糖尿病代謝内科学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
マンモグラフィ検診における中間期乳癌の生物学的特性と検診間隔の妥当性に関する研究	鈴木 昭彦	乳癌画像診断学寄附講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
ポリ塩化ビフェニルの胎児期ばく露による健康影響に関するコホート内症例対照研究	仲井 邦彦	発達環境医学分野	600,000	補委 日本学術振興会
語彙力を測定するアセスメントツールの開発ー出生コホートでの活用を目指してー	龍田 希	発達環境医学分野	800,000	補委 日本学術振興会
東日本大震災前後における放射性物質の周産期内部被ばくの比較	仲井 邦彦	発達環境医学分野	1,400,000	補委 日本学術振興会
前立腺癌患者QOL評価におけるゴールドスタンダードの確立に関する研究	並木 俊一	泌尿器科学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
パラワン島(フィリピン)におけるデング早期診断のための研究	齊藤 麻理子	微生物学分野	1,800,000	補委 日本学術振興会
化学療法抵抗性子宮内膜癌へのKcp1遺伝子導入治療	吉永 浩介	婦人科学分野	1,600,000	補委 日本学術振興会
マイクロRNAを用いた子宮体部漿液性腺癌の新しい治療法の基礎的検討	鈴木 史彦	婦人科学分野	700,000	補委 日本学術振興会
視細胞を守護する網膜色素上皮細胞の恒常性維持機構の解明	柴原 茂樹	分子生物学分野	1,300,000	補委 日本学術振興会
希少難治性炎症疾患に対する新規作用機序治療薬開発	官田 敏男	分子病態治療学分野	11,000,000	補委 日本学術振興会
線条体ネットワークの状態遷移に対する自発カルシウムリズムの寄与	小山内 実	保健学専攻 医用画像工学分野	900,000	補委 日本学術振興会
非線形的画質挙動のX線CT画像の画質測定法の開発と逐次近似的再構成の画質実態解明	森 一生	保健学専攻 医用画像工学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
頸動脈動脈硬化性プラークの客観的評価法(MRI-バーチャル・ヒストロジー)の開発	田村 元	保健学専攻 医用物理学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
CRHR1陽性子宮内膜癌細胞発現におけるストレス影響と遺伝的背景の解明	佐藤 菜保子	保健学専攻 がん看護学分野	500,000	補委 日本学術振興会
母乳分泌量維持要因の探索的研究～NICU入院中の母親の肯定的体験～	佐藤 祥子	保健学専攻 周産期看護学分野	500,000	補委 日本学術振興会
発達障害の子どもと家族のための看護支援ガイドラインの開発とその検証に関する研究	塩飽 仁	保健学専攻 小児看護学分野	600,000	補委 日本学術振興会
心腎貧血症候群の病態におけるレニン・アンジオテンシン系の新規因子の解析	高橋 和広	保健学専攻 内分泌応用医科学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会
乳癌個別化診断を目標とする新規エストロゲンシグナル経路の解析と検査法の開発	丹羽 俊文	保健学専攻 分子機能解析学分野	1,100,000	補委 日本学術振興会

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
細胞内エストロゲンシグナル経路の可塑性とアロマターゼ阻害剤耐性機序の解明	林 慎一	保健学専攻 分子機能解析学分野	1,200,000	補委 日本学術振興会
看護師の専門職性と離職意向に関する研究	渡邊 生恵	保健学専攻 看護教育・管理学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
精神病発症リスク状態における認知的洞察の検討: 認知機能障害との関連を踏まえて	内田 知宏	予防精神医学寄附講座	900,000	補委 日本学術振興会
3T高磁場MRIによる膵の非侵襲的機能画像の開発: ASL手法を用いた新しい試み	津田 雅視	量子診断学分野	1,500,000	補委 日本学術振興会
難治性膵疾患に関する調査研究	下瀬川 徹	消化器内科	63,000,000	補委 厚生労働省
医療機器・難病・希少疾患などに対するアカデミア主導の臨床研究	下瀬川 徹	消化器内科	70,000,000	補委 厚生労働省
薬剤アレルギー情報の医療標準化への取り組み	中山 雅晴	メディカルITセンター	3,334,000	補委 厚生労働省
アルツハイマー病診断用タウプローブの開発および探索的臨床研究	工藤 幸司	臨床研究推進センター	37,050,000	補委 厚生労働省
医療機器の登録認証機関の国際整合に向けた課題の可視化に関する研究	池田 浩治	臨床研究推進センター	9,100,000	補委 厚生労働省
ICD11オミックスサブ情報モデル(iCOs)の妥当性に関する実証研究	中谷 純	医学情報学分野	1,100,000	補委 厚生労働省
次世代シーケンサーを駆使した希少遺伝性難病の原因解明と治療法開発の研究	松原 洋一	遺伝病学分野	57,947,000	補委 厚生労働省
難治性潰瘍を伴う強皮症、混合性結合組織病、全身性エリテマトーデスに対する低出力体外衝撃波治療法	石井 智徳	血液・免疫病学分野	34,200,000	補委 厚生労働省
難治性SLEに対するボルテズミブ療法の有効性・安全性検証試験	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	51,575,000	補委 厚生労働省

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
健康日本21(第二次)の推進に関する研究	辻 一郎	公衆衛生学分野	5,000,000	補委 厚生労働省
宮城県における東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査	辻 一郎	公衆衛生学分野	70,000,000	補委 厚生労働省
介護予防事業の進捗管理と効果評価のためのデータ整備に関する研究	辻 一郎	公衆衛生学分野	5,539,000	補委 厚生労働省
ヒト生来由来多能性幹細胞(Muse細胞)の再生医療への応用に向けた安全性・有効性の検証	出沢 真理	細胞組織学分野	29,000,000	補委 厚生労働省
生活習慣病対策が医療費・介護保険給付費に及ぼす効果に関する研究	阿部 俊明	細胞治療分野	13,288,000	補委 厚生労働省
網膜色素変性治療をめざした経強膜ウノプロストン徐放法の開発	阿部 俊明	細胞治療分野	55,160,000	補委 厚生労働省
震災時の妊婦・褥婦の医療・保健的課題に関する研究	岡村 州博	周産期医学分野	15,000,000	補委 厚生労働省
乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験	大内 憲明	腫瘍外科学分野	110,608,000	補委 厚生労働省
生活習慣病予防のための運動を阻害する要因とその対策に関する研究	下川 宏明	循環器内科学分野	1,847,000	補委 厚生労働省
東日本大震災における高齢者特有の医学的影響とその予防法に関する研究	坂田 泰彦	循環器内科学分野	9,417,000	補委 厚生労働省
重症虚血性心疾患に対する低出力体外衝撃波治療法の開発	伊藤 健太	循環器内科学分野	30,000,000	補委 厚生労働省
切除可能膵癌の術前化学療法の有効性・安全性に関する臨床試験	海野 倫明	消化器外科学分野	34,200,000	補委 厚生労働省
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	呉 繁夫	小児病態学分野	42,500,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
インプリント異常症のエピゲノム分子機構と生殖補助医療との関連	有馬 隆博	情報遺伝学分野	2,770,000	補委 厚生労働省
大災害後の身体、知的障害児に關与する要因と福祉サービス介入の役割及び効果検証	有馬 隆博	情報遺伝学分野	20,000,000	補委 厚生労働省
遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の薬物動態の検討及び第2/3相試験	青木 正志	神経内科学分野	29,539,000	補委 厚生労働省
肝細胞増殖因子による筋萎縮性側索硬化症の新規治療法開発	青木 正志	神経内科学分野	94,300,000	補委 厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木 正志	神経内科学分野	10,800,000	補委 厚生労働省
重度嗅覚障害を呈するパーキンソン病を対象としたドネペジルの予後改善効果に関する研究	武田 篤	神経内科学分野	34,750,000	補委 厚生労働省
東日本大震災における精神疾患の実態についての疫学的調査と効果的な介入方法の開発についての研究	松岡 洋夫	精神神経学分野	3,000,000	補委 厚生労働省
新型インフルエンザ発生時の公衆衛生対策の再構築に関する研究	押谷 仁	微生物学分野	3,176,000	補委 厚生労働省
多色発光細胞を用いたhigh-throughput 免疫毒性評価試験法の開発	相場 節也	皮膚科学分野	9,289,000	補委 厚生労働省
PAI-1阻害に基づく新規放射線障害治療薬の臨床開発	宮田 敏男	分子病態治療学分野	60,000,000	補委 厚生労働省
受精卵呼吸測定装置を用いた臨床試験に橋渡しするための安全性および有用性に関する研究	宇都宮 裕貴	周産期医療人材養成寄附講座	18,800,000	補委 厚生労働省
不妊に関する専門的な相談と、生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	西郡秀和	産婦人科	1,416,720	補委 宮城県
高齢者の口腔機能の維持・向上法に関する研究	海老原覚	内部障害リハビリテーション科	342,229	補委 独立行政法人国立長寿医療研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究(EGFR遺伝子変異陽性肺がんの遺伝学的発がん機構の解明)	菊地利明	呼吸器内科	13,000,000	補 委 文部科学省
統合失調症の診断、治療法の開発に関する研究II	松岡洋夫	精神科	2,000,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
筋ジストロフィーおよび関連疾患の診断・治療開発を目指した基盤研究	青木正志	神経内科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	石澤賢一	血液・免疫科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫伸生	産婦人科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
角膜上皮幹細胞疲弊症に対する自己培養口腔粘膜上皮細胞シート移植法の多施設共同臨床試験	中澤徹	眼科	3,000,000	補 委 国立大学法人大阪大学
再生医療のがん治療応用を目指した基盤整備に関する研究	坂田直昭	肝・胆・膵外科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
治療効果判定におけるPET/CTの標準化に関する研究(標準化画像診断手順に従ったがん治療効果判定に関する研究)	金田朋洋	放射線治療科	800,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
脳心血管疾患に係るハイリスク者を抽出する循環器先制医療技術開発に関する研究	下川宏明	循環器内科	2,835,163	補 委 独立行政法人国立循環器病研究センター
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする予後因子に関する検討・免疫組織的検討	渡辺みか	病理部	10,140,000	補 委 国家公務員共済組合連合会東北公済病院
遠隔病理診断装置の実用化	渡辺みか	病理部	397,000	補 委 気仙沼市立病院
がん超早期診断・治療機器の総合研究開発/超早期高精度診断システムの研究開発:病理画像等認識技術の研究開発/病理画像等認識基礎技術の研究開発(1粒子蛍光ナノイメージングによる超高精度がん組織診断技術)	大内憲明	乳腺・内分泌外科	51,362,000	補 委 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
脳移植動物における機能的ワイヤによる神経機能回復の評価	上月正博	内部障害リハビリテーション科	650,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
3D眼底形状イメージングによる簡易的な緑内障リスク評価システムの構築	中澤徹	眼科	4,511,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
特異的プローブによるタウおよびA β 蓄積メカニズムの解明	工藤幸司	臨床研究推進センター	17,000,000	補 委 文部科学省
国産技術に基づく世界初の衝撃波アブレーション不整脈治療システムの開発	下川宏明	循環器内科	49,992,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
消化器用レーザーラマン分光診断・治療支援システムの実用化	下瀬川徹	消化器内科	2,600,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
高い眼内移行性を有するナノ粒子眼科製剤の開発と有効性評価	中澤徹	眼科	4,280,900	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
四肢麻痺患者の自立支援を目的とした多連発パルス刺激による新しいリハビリテーションシステムの開発	出江紳一	肢体不自由リハビリテーション科	6,999,200	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
血液内科学分野にかかる学術研究動向に関する調査研究	張替秀郎	血液・免疫科	1,690,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
癌特異的トランスポーター基質の臨床応用にかかる試験研究	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	3,000,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
超音波印加型中枢神経系薬剤局所投与デバイスの開発	齋藤竜太	脳神経外科	845,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
虚血の体外診断法の開発と臨床応用	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	390,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
ミトコンドリア関連ホルモン Stanniocalcin-1 (STC1)発現間葉系幹細胞(MSC)を用いた局所炎症の効率的コントロールによる間質性肺炎治療	大河内眞也	呼吸器内科	850,001	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
摂食・嚥下障害リハビリ用マウスピースの研究開発	出江紳一	肢体不自由リハビリテーション科	1,521,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
臓器間ネットワーク機構の統合的機能解明とその制御	片桐秀樹	糖尿病代謝科	42,354,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構

計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
2型糖尿病の発症予測に寄与する遺伝子診断法の開発	山田哲也	糖尿病代謝科	2,000,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
医工連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチ拠点形成	下川宏明	臨床研究推進センター	297,650,000	補 委 文部科学省
安全で高性能な細胞分離用酵素剤の臨床応用	後藤昌史	移植・再建・内視鏡外科	63,000,000	補 委 文部科学省
胎児心電図実用化促進のための橋渡し研究	木村芳孝	産婦人科	57,000,000	補 委 文部科学省
臨床研究中核病院整備事業	病院長	臨床研究推進センター	513,523,000	補 委 宮城県
バイオ人工膵島用埋め込み型細胞デバイスの開発	後藤昌史	移植・再建・内視鏡外科	87,172,668	補 委 宮城県
超音波を用いた革新的非侵襲性血管新生療法の開発	下川宏明	循環器内科	127,621,726	補 委 宮城県
IVRによる高血圧根治術—副腎静脈サンプリング技術を応用した原発性アルドステロン症の低侵襲治療—	高瀬圭	放射線診断科	50,254,165	補 委 宮城県

合計 579

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	藤島 史喜	病理部	[A case of curatively resected locally advanced pancreatic cancer with combined resection of the portal vein and common hepatic artery after neoadjuvant chemotherapy].	Gan To Kagaku Ryoho・40・12・1875・1877・2013
2	藤島 史喜	病理部	[A case of Peutz-Jeghers syndrome with repeated small intestinal intussusception successfully treated by intraoperative endoscopic polypectomy].	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi・110・6・1014・1021・2013
3	中里 信和	てんかん学分野	[A primary epileptogenic tuber revealed after corpus callosotomy in a patient with tuberous sclerosis complex and multiple tubers].	No Shinkei Geka・41・5・421・428・2013
4	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	[Cooperation and support activities of infection control after the Great East Japan Earthquake].	Rinsho Byori・61・12・1160・1165・2013
5	下瀬川 徹	消化器内科	[Multidisciplinary international classification of the severity of acute pancreatitis: Italian version 2013].	Minerva Med・104・6・649・657・2013
6	笠島 敦子	病理部	[Recent advances in gastroenteropancreatic neuroendocrine tumor pathology].	Gan To Kagaku Ryoho・40・7・833・837・2013
7	近藤 泰輝	消化器内科	1(OH) vitamin D3 supplementation improves the sensitivity of the immune-response during Peg-IFN/RBV therapy in chronic hepatitis C patients-case controlled trial.	PLoS One・8・5・e63672・e63672・2013
8	正宗 淳	消化器病態学分野	18. Alteration of pancreatic cancer cell functions by tumor-stromal cell interaction	Front Physiol・4・318・318・2013
9	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	3-DeazaneplanocinA(DZNep), an inhibitor of S-adenosylmethionine-dependent methyltransferase, promotes erythroid differentiation	J Biol Chem・289・12・8121・8134・2014

計 9

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
10	渡邊 みか	病理部	5-aminolevulinic acid fluorescence-guided resection of intramedullary ependymoma: report of 9 cases.	Neurosurgery・72・2 Suppl Operative・ ons159・ons168・ 2013
11	植松 貢	小児科	A case of atypical benign partial epilepsy with action myoclonus.	Seizure・22・3・242・ 245・2013
12	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	A case of resistance beyond extensively drug-resistant tuberculosis in Japan.	Eur Respir J・42・3・ 870・872・2013
13	笹原 洋二	小児科	A case series of CAEBV of children and young adults treated with reduced-intensity conditioning and allogeneic bone marrow transplantation: a single-center study.	Eur J Haematol・ 91・3・242・248・ 2013
14	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	A decline in glomerular filtration rate rather than renal arterial stenotic lesions, per se, predicts cardiovascular-renal events in type 2 diabetic patients.	Circ J・77・11・ 2816・2822・2013
15	海野 倫明	消化器外科学・ 生体調節外科学	A GNAS mutation found in pancreatic intraductal papillary mucinous neoplasms induces drastic alterations of gene expression profiles with upregulation of mucin genes.	PLoS One・9・2・ e87875・e87875・ 2014
16	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	A Low-Molecular-Weight Compound K7174 Represses Heparin: Possible Therapeutic Strategy against Anemia of Chronic Disease.	PLoS One・8・9・ e75568・e75568・ 2013
17	笹原 洋二	小児科	A nationwide survey of Aicardi-Goutieres syndrome patients identifies a strong association between dominant TREX1 mutations and chilblain lesions: Japanese cohort study.	Rheumatology (Oxford)・53・3・ 448・458・2013
18	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	A novel autoantibody against ephrin type B receptor 2 in acute necrotizing encephalopathy.	J Neuroinflammation・ 10・1・128・128・ 2013
19	西郡 秀和	産科	A retrospective multi-institutional study of treatment for mild gestational diabetes in Japan.	Diabetes Res Clin Pract.・103・3・412・ 418・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
20	青木 洋子	遺伝医療学分野	A transient myelodysplastic/myeloproliferative neoplasm in a patient with cardio-facio-cutaneous syndrome and a germline BRAF mutation.	Am J Med Genet A・161・10・2600・2603・2013
21	相沢 俊峰	整形外科	A. Bone formation within the articular cartilage of the lateral compartment of varus osteoarthritic knees.	J Orthop Sci・18・543・546・2013
22	植松 貢	小児科	Abdominal and lower back pain in pediatric idiopathic stabbing headache.	Pediatrics・133・1・e245・e247・2014
23	森本 玲	腎・高血圧・内分泌科	Aberrant gonadotropin-releasing hormone receptor (GnRHR) expression and its regulation of CYP11B2 expression and aldosterone production in adrenal aldosterone-producing adenoma (APA).	Mol Cell Endocrinol・384・1-2・102・108・2014
24	石岡 千加史	腫瘍内科	Acute exacerbation of paraneoplastic neurological syndrome after massive tumor lysis of neuroendocrine carcinoma by chemoradiotherapy	Int Canc Conf J・2・4・247・250・2013
25	齊藤 弘樹	総合感染症科	Acyclovir Reduces the Duration of Fever in Patients with Infectious Mononucleosis-like Illness.	Tohoku J Exp Med・229・2・137・142・2013
26	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Addition of clarithromycin to lenalidomide/low-dose dexamethasone was effective in a case of relapsed myeloma after long-term use of lenalidomide.	Ann Hematol・92・12・1711・1712・2013
27	下瀬川 徹	消化器内科	Alteration of pancreatic cancer cell functions by tumor-stromal cell interaction.	Front Physiol・4・318・318・2013
28	濱田 晋	消化器病態学分野	Alteration of the microRNA expression profile during the activation of pancreatic stellate cells.	Scand J Gastroenterol・49・3・323・331・2014
29	佐藤 康弘	心療内科	Altered brain activity in patients with anorexia nervosa during decision making: an fMRI study	Psychotherapy and Psychosomatics・82・S1・98・98・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
30	西郡 秀和	産科	Altered magnetic resonance images of brain and social behaviors of hatchling, and expression of thyroid hormone receptor β mRNA in cerebellum of embryos after Methimazole administration.	Psychopharmacology (Berl).•231•1•221•230•2014
31	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Amelioration of cardio-renal injury with aging in dahl salt-sensitive rats by H2-enriched electrolyzed water.	Med Gas Res•3•1•26•26•2013
32	渡邊 みか	病理部	Amyloid precursor protein in human breast cancer: An androgen-induced gene associated with cell proliferation.	Cancer Sci•104•11•1532•1538•2013
33	北浦 英樹	顎口腔矯正学分野	An anti-c-Fms antibody inhibits osteoclastogenesis in a mouse periodontitis model	Oral Diseases. •20•3•319•324•2013
34	石井 智徳	血液・免疫病学分野	An association analysis of HLA-DRB1 with systemic lupus erythematosus and rheumatoid arthritis in a Japanese population: effects of *09:01 allele on disease phenotypes.	Rheumatology (Oxford).•52•7•1172•1182•2013
35	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	An Expert Consensus Statement on Use of Adrenal Vein Sampling for the Subtyping of Primary Aldosteronism.	Hypertension•63•1•151•160•2014
36	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	An innovative method to identify autoantigens expressed on the endothelial cell surface: serological identification system for autoantigens using a retroviral vector and flow cytometry (SARF).	Clin Dev Immunol•2013•453058•453058•2013
37	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	An international survey of bacterial contamination and householders' knowledge, attitudes and perceptions of hygiene	Journal of Infection Prevention•14•4•132•138•2013
38	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Analgesic effects of the non-nitrogen-containing bisphosphonates etidronate and clodronate, independent of anti-resorptive effects on bone	Eur J Pharmacol. •699•1-3•14•22•2013
39	高浪 健太郎	放射線診断科	Analysis of early phase [C]BF-227 PET, and its application for anatomical standardization of late-phase images for 3D-SSP analysis.	Jpn J Radiol•32•3•138•144•2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
40	海野 倫明	消化器外科学・ 生体調節外科学	Angiogenesis and vascular maturation in neuroendocrine tumors.	Hum Patho・45・4・ 866・874・2014
41	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Angiotensin II receptor blockers differentially affect CYP11B2 expression in human adrenal H295R cells.	Mol Cell Endocrinol・383・1- 2・60・68・2014
42	植松 貢	小児科	Another case of lower back pain associated with migraine: the importance of specific questions.	J Child Neurol・28・ 5・680・680・2013
43	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Antimicrobial susceptibilities of Clostridium difficile isolated in Japan.	J Infect Chemother・19・2・ 360・362・2013
44	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Aortic stiffness determines diastolic blood flow reversal in the descending thoracic aorta: potential implication for retrograde embolic stroke in hypertension.	Hypertension・62・ 3・542・549・2013
45	下瀬川 徹	消化器内科	Application of deep sequence technology in hepatology.	Hepato Res・44・2・ 141・148・2013
46	渡邊 みか	病理部	Aromatase in human liver and its diseases.	Cancer Med・2・3・ 305・315・2013
47	中澤 徹	眼科学分野	Association of HK2 and NCK2 with normal tension glaucoma in the Japanese population.	PLoS One・8・1・ e54115・e54115・ 2013
48	植松 貢	小児科	Asymmetric drug-induced tremor: rare feature of a common event.	Pediatr Neurol・48・ 6・479・480・2013
49	井樋 栄二	整形外科学分野	Atypical Findings on Magnetic Resonance Imaging in the Patients with Active Pyogenic Spondylitis in Japanese University Hospitals	TOHOKU JOURNAL OF EXPERIMENTAL MEDICINE・231・1・ 13・19・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
50	今井 淳太	糖尿病代謝科	Bach1 deficiency protects pancreatic β -cells from oxidative stress injury.	American Journal of Physiology Endocrinology and Metabolism・305・5・641・648・2013
51	小池 智幸	消化器病態学分野	Barrett's esophageal cancer in which magnifying narrow-band imaging was useful for diagnosing extension under the squamous epithelium.	Dig Endosc・25 Suppl 2・181・183・2013
52	笹原 洋二	小児科	B-cell function after unrelated umbilical cord blood transplantation using a minimal-intensity conditioning regimen in patients with X-SCID.	Int J Hematol・98・3・355・360・2013
53	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Beneficial role of tolvaptan in the control of body fluids without reductions in residual renal function in patients undergoing peritoneal dialysis.	Adv Perit Dial・29・33・37・2013
54	植松 貢	小児科	Brain white matter abnormality in a newborn infant with congenital adrenal hyperplasia.	Clin Pediatr Endocrinol・22・4・77・81・2013
55	高山 真	漢方内科	Brief effect of acupoint stimulation using focused ultrasound.	J Altern Complement Med・19・5・416・419・2013
56	渡邊 みか	病理部	BUB1 immunolocalization in breast carcinoma: its nuclear localization as a potent prognostic factor of the patients.	Horm Cancer・4・2・92・102・2013
57	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Carbonyl stress induces hypertension and cardio-renal vascular injury in Dahl salt-sensitive rats.	Hypertens Res・36・4・361・367・2013
58	山本 照子	顎口腔矯正学分野	CBCT of skeletal changes following rapid maxillary expansion to increase arch-length with a development-dependent bonded or banded appliance	Angle Orthod・83・5・851・857・2013
59	正宗 淳	消化器病態学分野	CFTR, PRSS1, and SPINK1 Variants in Japanese Patients With Pancreatitis	Gastroenterology・144・5・1・S460・S460・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
60	川井 忠	歯科顎口腔外科	Characterization and bioactivity of nano-submicro octacalcium phosphate/gelatin composite	Applied Surface Science・282・138・145・2013
61	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Characterization of lipid-rich adrenal tumors by FDG PET/CT: Are they hormone-secreting or not?	Ann Nucl Med・28・2・145・153・2013
62	正宗 淳	消化器病態学分野	Childhood-onset hereditary pancreatitis with mutations in the CT gene and SPINK1 gene	Pediatr. Int.・55・5・646・649・2013
63	渡邊 みか	病理部	Clinical and histological characteristics of recurrent oligodendroglial tumors: comparison between primary and recurrent tumors in 18 cases.	Brain Tumor Pathol・30・3・151・159・2013
64	下瀬川 徹	消化器内科	Clinical experiences in the treatment of pancreatic arteriovenous malformation by total pancreatectomy with islet auto transplantation.	Transplantation・96・5・e38・e40・2013
65	石岡 千加史	腫瘍内科	Clinical usefulness of KRAS, BRAF, and PIK3CA mutations as predictive markers of cetuximab efficacy in irinotecan- and oxaliplatin-refractory Japanese patients with metastatic colorectal cancer	Int J Clin Oncol・2・4・670・677・2013
66	笠島 敦子	病理部	Clinicopathologic significance of immunostaining of alpha-thalassemia/mental retardation syndrome X-linked protein and death domain-associated protein in neuroendocrine tumors.	Hum Pathol・44・10・2199・2203・2013
67	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Clinicopathological analysis of primary adrenal diffuse large B-cell lymphoma: effectiveness of rituximab-containing chemotherapy including central nervous system prophylaxis.	Exp Hematol Oncol・2・1・19・19・2013
68	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Clinicopathological characterization of so-called cholangiocarcinoma with intraductal papillary growth" with respect to "intraductal papillary neoplasm of bile duct (IPNB)".	Int J Clin Exp Pathol・7・6・3112・3122・2014
69	渡邊 みか	病理部	Clinicopathological investigation of vascular endothelial growth factor and von Hippel-Lindau gene-related protein expression in immunohistochemically negative pituitary adenoma—possible involvement in tumor aggressiveness.	Endocr Res・38・4・242・250・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
70	小池 智幸	消化器病態学分野	Collagenous gastritis.	Dig Endosc・25・5・547・549・2013
71	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Combination therapy for hypertension in patients with CKD: a subanalysis of the Combination Therapy of Hypertension to Prevent Cardiovascular Events trial.	Hypertens Res・36・11・947・958・2013
72	川井 忠	歯科顎口腔外科	Comparison of bone regeneration between octacalcium phosphate (OCP)/collagen composite and β -tricalcium phosphate (β -TCP) in canine calvarial defect	Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology and Endodontology・115・1・9・17・2013
73	藤村 卓	皮膚科学分野	Comparison of immunosuppressive and cytotoxic cells in angiosarcoma: development of a possible supportive therapy for angiosarcoma.	Dermatology・227・1・14・20・2013
74	藤村 卓	皮膚科学分野	Comparison of immunosuppressive cells and immunomodulatory cells in keratoacanthoma and invasive squamous cell carcinoma.	Acta Dermato Venereologica・93・6・663・668・2013
75	藤村 卓	皮膚科学分野	Comparison of interleukin-17- producing cells in different clinical types of alopecia areata.	Dermatology・227・1・78・82・2013
76	西郡 秀和	産科	Comparison of pregnancy outcomes between women with gestational diabetes and overt diabetes first diagnosed in pregnancy: A retrospective multi-institutional study in Japan.	Diabetes Res Clin Pract.・103・1・20・25・2014
77	小池 智幸	消化器病態学分野	Comparison of the Long-Term Outcomes of Endoscopic Resection for Superficial Squamous Cell Carcinoma and Adenocarcinoma of the Esophagus in Japan.	Am J Gastroenterol・109・3・348・356・2014
78	春日 紀恵	薬剤部	Comprehensive analysis of MHC ligands in clinical material by immunoaffinity-mass spectrometry.	Methods in molecular biology (Clifton, N.J.)・1023・203・218・2013
79	菊地 利明	呼吸器内科学分野	Contribution of CD4+ T cells and dendritic cells to female-dominant antigen-induced T helper type 2 cytokine production by bronchial lymph node cells.	Int Arch Allergy Immunol.・161・Suppl 2・58・65・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
80	中澤 徹	眼科学分野	Correlation between optic disc microcirculation in glaucoma measured with laser speckle flowgraphy and fluorescein angiography, and the correlation with mean deviation.	Clin Experiment Ophthalmol・42・3・293・294・2013
81	中澤 徹	眼科学分野	Correlation of Magnetic Resonance Imaging optic nerve parameters to Optical Coherence Tomography and the visual field in glaucoma.	Clin Experiment Ophthalmol・42・4・360・368・2013
82	井樋 栄二	整形外科科学分野	Cortical bone tissue response of injectable octacalcium phosphate-hyaluronic acid complexes	Key Eng Mat・529-530・1・296・299・2013
83	井樋 栄二	整形外科科学分野	Coverage of the humeral head by the coracoacromial arch: Relationship with rotator cuff tears	Acta Med. Okayama・67・6・377・383・2013
84	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Criteria for the glucagon provocative test in the diagnosis of gastrinoma.	Surg Today・43・11・1281・1285・2013
85	中澤 徹	眼科学分野	Critical role of Nrf2 in oxidative stress-induced retinal ganglion cell death	J Neurochem・128・669・680・2013
86	下瀬川 徹	消化器内科	CUB-domain containing protein 1 represses the epithelial phenotype of pancreatic cancer cells.	Exp Cell Res・321・2・209・218・2014
87	藤島 史喜	病理部	Cyclin D1 (CCND1) expression is involved in estrogen receptor beta (ERbeta) in human prostate cancer.	Prostate・73・6・590・595・2013
88	井樋 栄二	整形外科科学分野	Cystic lesion within the infraspinatus muscle caused by a partial-thickness rotator cuff tear	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE・18・6・1050・1054・2013
89	西郡 秀和	産科	Decreased expression of 14-3-3σ is predictive of poor prognosis for patients with human uterine papillary serous carcinoma.	Tohoku J Exp Med・231・3・193・199・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
90	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Deglutitive tongue movement after correction of mandibular protrusion A pilot study	Angle Orthodontist・83・4・591・596・2013
91	井樋 栄二	整形外科学分野	Design of a randomized clinical trial of concurrent treatment with vitamin K2 and risedronate compared to risedronate alone in osteoporotic patients: Japanese Osteoporosis Intervention Trial-03 (JOINT-03).	J Bone Miner Metab・32・3・298・304・2013
92	渡邊 みか	病理部	Detection of invasive components in cases of breast ductal carcinoma in situ on biopsy by using apparent diffusion coefficient MR parameters.	Eur Radiol・23・10・2705・2712・2013
93	渡邊 みか	病理部	Detection of sentinel lymph node metastases in cervical cancer: assessment of KRT19 mRNA in the one-step nucleic acid amplification (OSNA) method.	Gynecol Oncol・130・3・530・536・2013
94	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Development of monoclonal antibodies against human CYP11B1 and CYP11B2.	Mol Cell Endocrinol・383・1-2・111・117・2013
95	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Development of polyvinyl alcohol bioartificial pancreas with rat islets and mesenchymal stem cells.	Transplant Proc・45・5・1875・1880・2013
96	井樋 栄二	整形外科学分野	Differences in muscle activities during shoulder elevation in patients with symptomatic and asymptomatic rotator cuff tears: analysis by positron emission tomography.	J Shoulder Elbow Surg・23・3・e61・e67・2013
97	山田 充啓	呼吸器内科	Differences in the released endothelial microparticle subtypes between human pulmonary microvascular endothelial cells and aortic endothelial cells in vitro.	Exp Lung Res・39・4-5・155・161・2013
98	笠島 敦子	病理部	Differential expression of histone deacetylases HDAC1, 2 and 3 in human breast cancer—overexpression of HDAC2 and HDAC3 is associated with clinicopathological indicators of disease progression.	BMC Cancer・13・215・215・2013
99	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Dilated papilla with mucin extrusion is a potential predictor of acute pancreatitis associated with intraductal papillary mucinous neoplasms of pancreas.	Pancreatology・13・6・615・620・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
100	下瀬川 徹	消化器内科	Direct effects of hepatitis C virus on the lymphoid cells.	World J Gastroenterol・19・44・7889・7895・2013
101	小暮 高之	消化器内科	Distinct MicroRNAs Expression Profile in Primary Biliary Cirrhosis and Evaluation of miR 505-3p and miR197-3p as Novel Biomarkers	PLOS ONE・8・6・e66086・2013
102	中里 信和	てんかん学分野	Does measurement of event-related gamma-augmentation replace electrical stimulation via intracranial electrodes?	Clin Neurophysiol・124・5・829・830・2013
103	井樋 栄二	整形外科学分野	Does the "bumper" created during Bankart repair contribute to shoulder stability?	JOURNAL OF SHOULDER AND ELBOW SURGERY・22・6・828・834・2013
104	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Domain order of a bispecific diabody dramatically enhances its antitumor activity beyond structural format conversion: the case of the hEx3 diabody.	Protein Eng Des Sel・26・5・359・367・2013
105	石井 智徳	血液・免疫病学分野	Drug free REmission/low disease activity after cessation of tocilizumab (Actemra) Monotherapy (DREAM) study.	Mod Rheumatol・24・1・17・25・2014
106	渡邊 みか	病理部	Dynamic changes in magnetic resonance imaging appearance of dysembryoplastic neuroepithelial tumor with or without malignant transformation.	J Neurosurg Pediatr・11・5・518・525・2013
107	植松 貢	小児科	Early replacement therapy in a first Japanese case with autosomal recessive guanosine triphosphate cyclohydrolase I deficiency with a novel point mutation.	Brain Dev・36・3・268・271・2013
108	渡邊 みか	病理部	Early response to chemotherapy as an indicator for the management of germinoma-like tumors of the pineal and/or suprasellar regions.	J Clin Neurosci・21・1・124・130・2014
109	植松 貢	小児科	Effect of a blackout in pediatric patients with home medical devices during the 2011 eastern Japan earthquake.	Brain Dev・36・2・143・147・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
110	井樋 栄二	整形外科学分野	Effect of addition of hyaluronic acids on the osteoconductivity and biodegradability of synthetic octacalcium phosphate.	Acta Biomater・10・1・531・543・2014
111	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Effect of allopurinol on cardiovascular incidence among hypertensive nephropathy patients: the Gonryo study.	Clin Exp Nephrol・17・4・549・553・2013
112	井樋 栄二	整形外科学分野	Effect of medial tibial torsion on the sagittal alignment of lower legs in patients with medial knee osteoarthritis	SURGICAL AND RADIOLOGIC ANATOMY・35・3・205・210・2013
113	中澤 徹	眼科学分野	Effect of Topical Tafluprost on Optic Nerve Head Blood Flow in Patients With Myopic Disc Type.	J Glaucoma・22・5・398・403・2013
114	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Effects of a benidipine-based combination therapy on the risk of stroke according to stroke subtype: the COPE trial.	Hypertens Res・36・12・1088・1095・2013
115	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Effects of dual blockade of the renin-angiotensin system on renal and cardiovascular outcomes in type 2 diabetes with overt nephropathy and hypertension in the ORIENT: a post-hoc analysis (ORIENT-Hypertension).	Hypertens Res・36・12・1051・1059・2013
116	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Effects of duodeno-jejunal bypass on glucose metabolism in obese rats with type 2 diabetes.	Surg Today・44・2・340・348・2014
117	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Effects of green tea polyphenols on iodide-induced autoimmune thyroiditis in nonobese diabetic mice.	Immunol Invest・42・3・235・246・2013
118	西郡 秀和	産科	Efficacy of recombinant human soluble thrombomodulin in severe postpartum hemorrhage with disseminated intravascular coagulation.	Clin Appl Thromb Hemost・19・5・557・561・2013
119	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Eicosapentaenoic acid improves glycemic control in elderly bedridden patients with type 2 diabetes.	Tohoku J Exp Med・231・1・63・74・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
120	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Elucidation of the role of LMO2 in human erythroid cells.	Exp Hematol・41・12・1062・10760・2013
121	下瀬川 徹	消化器内科	Enhanced expression of long non-coding RNA HOTAIR is associated with the development of gastric cancer.	PLoS One・8・10・e77070・e77070・2013
122	藤村 卓	皮膚科学分野	Eosinophilic cellulitis induced by subcutaneous administration of interferon-beta.	Acta Dermato Venereologica・93・6・755・756・2013
123	井樋 栄二	整形外科科学分野	Epidemiology of Surgically Treated Primary Spinal Cord Tumors in Miyagi, Japan	NEUROEPIDEMIOLOGY・41・3-4・156・160・2013
124	小暮 高之	消化器内科	Eradication of hepatitis C virus could improve immunological status and pyoderma gangrenosum-like lesions.	Hepatol Res・44・2・238・245・2014
125	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Evaluation of optimal length and insertion torque for miniscrew	Am J Orthod Dentofacial Orthop・144・2・251・259・2013
126	青木 洋子	遺伝医療学分野	Exome sequencing identifies a novel TTN mutation in a family with hereditary myopathy with early respiratory failure.	J Hum Genet・58・5・259・266・2013
127	藤島 史喜	病理部	Experimental application of pulsed laser-induced water jet for endoscopic submucosal dissection: mechanical investigation and preliminary experiment in swine.	Dig Endosc・25・3・255・263・2013
128	北浦 英樹	顎口腔矯正学分野	Expression of pituitary adenylate cyclase-activating peptide (PACAP) and PAC1 in the periodontal ligament after tooth luxation	Cell. Mol. Neurobiol.・33・7・885・892・2013
129	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Expression profiling of ETO2-regulated miRNAs in erythroid cells: Possible influence on miRNA abundance.	FEBS Open Bio・3・428・432・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
130	土谷 昌広	加齢歯科学分野	Extracellular ATP inhibits IL-1-induced MMP-1 expression through the action of CD39/nucleotidase triphosphate dephosphorylase-1 on human gingival fibroblasts.	Int Immunopharmacol・17・3・513・518・2013
131	小暮 高之	消化器内科	Extracellular Vesicle-Mediated Transfer of a Novel Long Noncoding RNA TUC339: A Mechanism of Intercellular Signaling in Human Hepatocellular Cancer.	Genes Cancer・4・7-8・261・272・2013
132	井樋 栄二	整形外科科学分野	Fabrication of a high-performance hip prosthetic stem using beta Ti-33.6Nb-4Sn.	J Mech Behav Biomed Mater・30・140・149・2014
133	井上 健太郎	加齢核医学	FDG-PET/CT of sarcoidosis and sarcoid reactions following antineoplastic treatment.	Springerplus・2・1・113・113・2013
134	菊地 利明	呼吸器内科学分野	Flagellin/TLR5 signaling potentiates airway serous secretion from swine tracheal submucosal glands.	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol・305・11・L819・L830・2013
135	高山 真	漢方内科	Food intake and the risk of endometrial endometrioid adenocarcinoma in Japanese women.	Nutr Cancer・65・7・954・960・2013
136	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Fratricide of natural killer cells dressed with tumor-derived NKG2D ligand.	Proc Natl Acad Sci U S A・110・23・9421・9426・2013
137	笠島 敦子	病理部	Frontal sinusitis with mixed bacterial colonies treated with the combination of endoscopic modified lothrop procedure and external approach.	Case Rep Otolaryngol・2013・541843・541843・2013
138	青木 洋子	遺伝医療学分野	Gain-of-function mutations in RIT1 cause Noonan syndrome, a RAS/MAPK pathway syndrome.	Am J Hum Genet・93・1・173・180・2013
139	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Gap junction-mediated communication in human periodontal ligament cells	J Dent Res・92・7・635・640・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
140	笹原 洋二	小児科	Gene therapy model of X-linked severe combined immunodeficiency using a modified foamy virus vector.	PLoS One・8・8・e71594・e71594・2013
141	藤村 卓	皮膚科学分野	Generalized Granulomatous Dermatitis Accompanied by Myelodysplastic Syndrome.	Acta Dermato Venereologica・94・2・223・224・2014
142	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Glutamate Receptors and the Regulation of Steroidogenesis in the Human Adrenal Gland: The Metabotropic Pathway.	Mol Cell Endocrinol・382・1・170・177・2014
143	藤村 卓	皮膚科学分野	Granulysin-Bearing Cells in the Skin Lesions of Acute Graft-versus-Host Disease: Possible Mechanisms for Hypohidrosis in Graft-versus-Host Disease.	Case Reports in Dermatology・5・1・88・92・2013
144	石井 正	総合地域医療教育支援部	Heart rate variability and hemodynamic change in the superior mesenteric artery by acupuncture stimulation of lower limb points	Evidence-based Complementary and Alternative Medicine・2013・315982・315982・2013
145	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Heavy chain deposition disease: an overview.	Clin Exp Nephrol・17・6・771・778・2013
146	小池 智幸	消化器病態学分野	Hemorrhagic ulcers after Great East Japan Earthquake and Tsunami: features of post-disaster hemorrhagic ulcers.	Digestion・87・1・40・46・2013
147	近藤 泰輝	消化器内科	Hepatitis B surface antigen could contribute to the immunopathogenesis of hepatitis B virus infection.	ISRN Gastroenterol・2013・935295・935295・2013
148	渡邊 みか	病理部	Hexokinase II in breast carcinoma: a potent prognostic factor associated with hypoxia-inducible factor-1alpha and Ki-67.	Cancer Sci・104・10・1380・1388・2013
149	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	High Frequency of Acinetobacter soli among Acinetobacter Isolates Causing Bacteremia at a Tertiary Hospital in Japan.	J Clin Microbiol・52・3・911・915・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
150	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	High-normal diastolic blood pressure is a risk for development of microalbuminuria in the general population: the Watari study.	J Hypertens・31・4・798・804・2013
151	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	HIV-1 resistance mechanism to an electrostatically constrained peptide fusion inhibitor that is active against T-20-resistant strains.	Antimicrob Agents Chemother・57・8・4035・4038・2013
152	小暮 高之	消化器内科	How Do Transplant Surgeons Accomplish Optimal Portal Venous Flow During Living-Donor Liver Transplantation? Noninvasive Measurement of Indocyanine Green Elimination Rate.	Surg Innov・21・1・43・51・2013
153	植松 貢	小児科	Human occipital cortices differentially exert saccadic suppression: Intracranial recording in children.	Neuroimage・83・224・236・2013
154	下瀬川 徹	消化器内科	IAP/APA evidence-based guidelines for the management of acute pancreatitis.	Pancreatology・13・4 Suppl 2・e1・e15・2013
155	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Identification of Actinomyces meyeri Actinomycosis in Middle Ear and Mastoid by 16S rRNA Analysis.	J Med Microbiol・62・Pt8・1245・1248・2013
156	正宗 淳	消化器病態学分野	Identification of novel missense CTSC variants in Japanese patients with chronic pancreatitis	Gut・62・4・653・654・2013
157	井樋 栄二	整形外科学分野	Identification of prognostic factors for the nonoperative treatment of stiff shoulder	INTERNATIONAL ORTHOPAEDICS・37・5・859・864・2013
158	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Identification of the novel erythroid-specific enhancer for ALAS2 gene and its loss-of-function mutation associated with congenital sideroblastic anemia.	Haematologica・99・2・252・261・2013
159	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Identification of the stages of diabetic nephropathy at which angiotensin II receptor blockers most effectively suppress albuminuria.	Am J Hypertens・26・9・1064・1069・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
160	笹原 洋二	小児科	IDH2 and TP53 mutations are correlated with gliomagenesis in a patient with Maffucci syndrome.	Cancer Sci・105・3・359・362・2013
161	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Imaging of transplanted islets by positron emission tomography, magnetic resonance imaging, and ultrasonography.	Islets・5・5・179・187・2013
162	井樋 栄二	整形外科学分野	Immobilizing performances, comfort, and user-friendliness of the shoulder abduction-external rotation braces	UPSALA JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES・118・2・105・110・2013
163	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Immunogenicity of single-dose Vero cell-derived Japanese encephalitis vaccine in Japanese adults.	J Infect Chemother・20・4・238・242・2014
164	下瀬川 徹	消化器内科	Immunoglobulin G4-related gastrointestinal diseases, are they immunoglobulin G4-related diseases?	World J Gastroenterol・19・35・5769・5774・2013
165	北浦 英樹	顎口腔矯正学分野	Immunological reaction in TNF- α -mediated osteoclast formation and bone resorption in vitro and in vivo	Clin. Dev. Immunol.・2013・181849・181849・2013
166	藤村 卓	皮膚科学分野	Immunomodulatory effect of bisphosphonate risedronate sodium on CD163+ arginase 1+ M2 macrophages: the development of a possible supportive therapy for angiosarcoma.	Clinical and Developmental Immunology・2013・325412・2013
167	藤村 卓	皮膚科学分野	Immunosuppression-associated eosinophilic pustular folliculitis (IS-EPF) developing after Highly Active Anti-Retroviral Therapy (HAART): the possible mechanisms through CD163+ M2 macrophages.	European Journal of Dermatology・23・5・713・714・2013
168	西郡 秀和	産科	Impaired imprinting and social behaviors in chicks exposed to mifepristone, a glucocorticoid receptor antagonist, during the final week of embryogenesis.	Behav Brain Res.・261・134・139・2014
169	西郡 秀和	産科	Impaired social behavior in chicks exposed to sodium valproate during the last week of embryogenesis.	Psychopharmacology (Berl).・227・3・393・402・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
170	竹下 信郎	顎口腔矯正学分野	Improvement of asymmetric stomatognathic functions, unilateral crossbite, and facial esthetics in a skeletal Class III case with mandibular asymmetry treated by orthognathic surgery	Am J Orthod Dentofacial Orthop・144・3・441・454・2013
171	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Improvement rate of acute otitis media caused by Haemophilus influenzae at one week is significantly associated with the time to recovery.	J Clin Microbiol・51・11・3542・3546・2013
172	藤村 卓	皮膚科学分野	In vivo imaging demonstrates ATP release from murine keratinocytes and its involvement in cutaneous inflammation after tape stripping.	Journal of Investigative Dermatology・133・10・663・668・2013
173	依田 信裕	口腔システム補綴学分野	In vivo load measurement to evaluate the biomechanical effects of a splinted implant-supported superstructure.	Int J Prosthodont・26・2・143・146・2013
174	中里 信和	てんかん学分野	Increase in the number of patients with seizures following the Great East-Japan Earthquake.	Epilepsia・54・4・e49・e52・2013
175	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Increased expression of (pro) renin receptor in aldosterone-producing adenomas.	Peptides・49・68・73・2013
176	下瀬川 徹	消化器内科	Increased gastric mucus secretion alleviates non-steroidal anti-inflammatory drug-induced abdominal pain.	Tohoku J Exp Med・231・1・29・36・2013
177	植松 貢	小児科	Increased Ki-67 immunoreactivity in the white matter in hemimegalencephaly.	Neurosci Lett・548・244・248・2013
178	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Indirect usage of miniscrew anchorage to intrude overerupted mandibular incisors in a Class II patient with a deep overbite.	Am J Orthod Dentofacial Orthop・143・4 Suppl・S113・S124・2013
179	藤村 卓	皮膚科学分野	Induction of CD163+ M2 macrophages in the lesional skin of eosinophilic pustular folliculitis.	Acta Dermato Venereologica・94・1・104・106・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
180	藤村 卓	皮膚科学分野	Induction of IL-17 producing cells and Foxp3+ regulatory T cells in areas of skin affected by localized pemphigus foliaceus.	European Journal of Dermatology・23・5・711・712・2013
181	濱田 晋	消化器病態学分野	Inflammation and pancreatic cancer: disease promoter and new therapeutic target.	J Gastroenterol・49・4・605・617・2013
182	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Inflammatory and Necrotic Effects of Minodronate, a Nitrogen-Containing Bisphosphonate, in Mice	Tohoku J Exp Med.・230・3・141・149・2013
183	笠島 敦子	病理部	Inflammatory myofibroblastic tumor of the nasal septum.	Case Rep Otolaryngol・2013・670105・670105・2013
184	土谷 昌広	加齢歯科学分野	Influence of a long-term powdered diet on the social interaction test and dopaminergic systems in mice.	Neurochem Int・63・4・309・315・2013
185	井樋 栄二	整形外科科学分野	Influence of intramedullary stress on cervical spondylotic myelopathy	SPINAL CORD・51・10・761・764・2013
186	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Influence of preoperative anti-cancer therapy on resectability and perioperative outcomes in patients with pancreatic cancer: Project study by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	J Hepatobiliary Pancreat Sci・21・2・148・158・2013
187	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Influence of prior pandemic A(H1N1)2009 virus infection on invasion of MDCK cells by community-associated methicillin-resistant Staphylococcus aureus.	J Infect Chemother・20・1・71・73・2014
188	笹原 洋二	小児科	Interstitial lung disease in two brothers with novel compound heterozygous ABCA3 mutations.	Eur J Pediatr・172・7・953・957・2013
189	藤島 史喜	病理部	Intraductal papillary mucinous neoplasm originating from a jejunal heterotopic pancreas: report of a case.	Surg Today・44・2・349・353・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
190	中澤 徹	眼科学分野	Intraocular concentrations of cytokines and chemokines in rhegmatogenous retinal detachment and the effect of intravitreal triamcinolone acetonide.	Am J Ophthalmol・155・1028・1037・2013
191	工藤 大介	高度救命救急センター	Involvement of Gr-1 Cells in the Production of TNF-alpha and IL-17 and Exacerbated Systemic Inflammatory Response Caused by Lipopolysaccharide.	Inflammation・37・1・186・195・2013
192	工藤 大介	高度救命救急センター	Involvement of high mobility group box 1 and the therapeutic effect of recombinant thrombomodulin in a mouse model of severe acute respiratory distress syndrome.	Clin Exp Immunol・173・2・276・287・2013
193	小暮 高之	消化器内科	Involvement of miRNA-29a in epigenetic regulation of transforming growth factor-beta-induced epithelial-mesenchymal transition in hepatocellular carcinoma.	Hepato Res・44・8・907・919・2013
194	山本 宣幸	整形外科	Is protecting the healing ligament beneficial after immobilization in external rotation for an initial shoulder dislocation?	Am J Sports Med・41・5・1126・1132・2013
195	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Isoform-specific monoclonal antibodies against 3 beta-hydroxysteroid dehydrogenase/isomerase family provide markers for subclassification of human primary aldosteronism.	J Clin Endocrinol Metab・99・2・E257・E262・2013
196	井樋 栄二	整形外科学分野	Joint Immobilization Induced Hypoxic and Inflammatory Conditions in Rat Knee Joints	CONNECTIVE TISSUE RESEARCH・54・3・210・217・2013
197	石岡 千加史	腫瘍内科	KRAS mutation in patients with metastatic colorectal cancer does not preclude benefit from oxaliplatin-or irinotecan-based treatment	Mol Clin Oncol・2・3・356・362・2014
198	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Lessons learned from a tuberculosis contact investigation associated with a disaster volunteer after the 2011 great East Japan earthquake.	Am J Respir Crit Care Med・187・11・1278・1279・2013
199	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Lessons learned from earthquake-related tuberculosis exposures in a community shelter, Japan, 2011.	Am J Infect Control・42・3・246・248・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
200	井樋 栄二	整形外科学分野	Lithium Chloride Enhances Cathepsin H Expression and BMP-4 Degradation in C3H10T1/2 Cells	BIOMED RESEARCH INTERNATIONAL・2013・143742・2013
201	笹原 洋二	小児科	Long-term outcome of childhood aplastic anemia patients who underwent allogeneic hematopoietic SCT from an HLA-matched sibling donor in Japan.	Bone Marrow Transplant・48・5・657・660・2013
202	工藤 大介	高度救命救急センター	Low-dose interferon-alpha treatment improves survival and inflammatory responses in a mouse model of fulminant acute respiratory distress syndrome.	Inflammation・36・4・812・820・2013
203	植松 貢	小児科	Lower back pain as a symptom of migrainous corpalgia.	J Child Neurol・28・5・676・677・2013
204	中里 信和	てんかん学分野	Magnetoencephalography localizing spike sources of atypical benign partial epilepsy.	Brain Dev・36・1・21・27・2014
205	渡邊 みか	病理部	Malignant pediatric brain tumor of primitive small round cell proliferation with bland-looking mesenchymal spindle cell elements.	Brain Tumor Pathol・30・2・109・116・2013
206	井樋 栄二	整形外科学分野	Management of Disorders of the Rotator,Cuff: Proceedings of the ISAKOS Upper Extremity Committee Consensus Meeting	ARTHROSCOPY-THE JOURNAL OF ARTHROSCOPIC AND RELATED SURGERY・29・11・
207	小暮 高之	消化器内科	Matrix metalloproteinase-9 as a therapeutic target for the progression of fulminant liver failure with hepatic encephalopathy: A pilot study in mice.	Hepato Res・44・6・651・662・2013
208	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	MDR1 synonymous polymorphisms alter transporter specificity and protein stability in a stable epithelial monolayer.	Cancer Res・74・2・598・608・2014
209	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Mechanism of resistance to S138A substituted enfuvirtide and its application to peptide design.	Int J Biochem Cell Biol・45・4・908・915・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
210	渡邊 みか	病理部	Metachronous, multicentric glioma of pilocytic astrocytoma with oligodendroglioma-like component and oligodendroglioma through distinct genetic aberrations.	J Neurosurg・118・4・854・858・2013
211	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Metallothionein-3 (MT-3) in the Human Adrenal Cortex and its Disorders.	Endocr Pathol・25・3・229・235・2013
212	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Methionine adenosyltransferase II-dependent histone H3K9 methylation at the COX-2 gene locus	J Biol Chem. ・288・19・13592・13601・2013
213	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	MicroRNA 223 is upregulated in the multistep progression of Barrett's esophagus and modulates sensitivity to chemotherapy by targeting PARP1.	Clin Cancer Res・19・15・4067・4078・2013
214	高橋 雅信	腫瘍内科	MicroRNA-200c modulates epithelial-to-mesenchymal transition (EMT) in human colorectal cancer metastasis	Gut・62・9・1315・1326・2013
215	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	miR-197 induces epithelial-mesenchymal transition in pancreatic cancer cells by targeting p120 catenin.	J Cell Physiol・228・6・1255・1263・2013
216	正宗 淳	消化器病態学分野	miR-210 regulates the interaction between pancreatic cancer cells and stellate cells	Biochem. Biophys. Res. Commun.・437・3・433・439・2013
217	正宗 淳	消化器病態学分野	MiR-365 Indirectly Regulates Drug Resistance-Related Molecule Aryl Hydrocarbon Receptor Nuclear Translocator Expression in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Cells	Gastroenterology・144・5.1・S68・S68・2013
218	下瀬川 徹	消化器内科	MiR-365 induces gemcitabine resistance in pancreatic cancer cells by targeting the adaptor protein SHC1 and pro-apoptotic regulator BAX.	Cell Signal・26・2・179・185・2014
219	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Molecular characteristics of extended-spectrum beta-lactamases in clinical isolates from Escherichia coli at a Japanese tertiary hospital.	PLoS One・8・5・e64359・e64359・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
220	笠島 敦子	病理部	Molecular mechanism of histamine clearance by primary human astrocytes.	Glia・61・6・905・916・2013
221	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Multicenter phase II clinical trial of nilotinib for patients with imatinib-resistant or -intolerant chronic myeloid leukemia from the East Japan CML study group evaluation of molecular response and the efficacy and safety of nilotinib	Biomark Res・2・1・6・6・2014
222	藤村 卓	皮膚科学分野	Multiple low-grade fibromyxoid sarcoma on the upper arms with atypical histological presentation.	Case Reports in Dermatology・5・2・152・155・2013
223	渡邊 みか	病理部	Murine double minute 2 and its association with chemoradioresistance of esophageal squamous cell carcinoma.	Anticancer Res・33・4・1463・1471・2013
224	正宗 淳	消化器病態学分野	Mutational Analysis of the Chymotrypsin C (CTRC) and Interferon Regulatory Factor 2 (IRF2) Genes in Japanese Patients With Chronic Pancreatitis	Gastroenterology・144・5・1・S459・S459・2013
225	菊地 利明	呼吸器内科学分野	Mycobacterium avium genotype is associated with the therapeutic response to lung infection.	Clin Microbiol Infect・20・256・262・2014
226	具 芳明	総合感染症科	Mycobacterium tuberculosis infection in cancer patients at a tertiary care cancer center in Japan.	J Infect Chemother・20・3・213・216・2014
227	井樋 栄二	整形外科科学分野	Myositis ossificans of the rotator cuff muscle	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE・18・4・675・678・2013
228	土谷 昌広	加齢歯科学分野	Nanohydroxyapatite increases BMP-2 expression via a p38 MAP kinase dependent pathway in periodontal ligament cells.	Arch Oral Biol・58・8・1021・1028・2013
229	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	National surveillance of influenza-associated encephalopathy in Japan over six years, before and during the 2009-2010 influenza pandemic.	PLoS One・8・1・e54786・e54786・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
230	藤島 史喜	病理部	Neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine and S-1 for resectable and borderline pancreatic ductal adenocarcinoma: results from a prospective multi-institutional phase 2 trial.	Ann Surg Oncol・20・12・3794・3801・2013
231	植松 貢	小児科	Neonatal "Seizure" While Riding in a Car: A Peculiar but Key Episode for Diagnosis of Benign Neonatal Sleep Myoclonus.	Clin Pediatr (Phila)・53・6・605・606・2013
232	佐藤 康弘	心療内科	Neural basis of impaired cognitive flexibility in patients with anorexia nervosa.	PLoS One・8・5・e61108・2013
233	館 正弘	形成外科学分野	Neutrophil-derived tumor necrosis factor- α contributes to acute wound healing promoted by N-(3-oxododecanoyl)-L-homoserine lactone from <i>Pseudomonas aeruginosa</i> .	J Dermatol Sci・70・2・130・138・2013
234	井樋 栄二	整形外科学分野	Nicotine reduced MMP-9 expression in the primary porcine tenocytes exposed to cyclic stretch	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC RESEARCH・31・4・645・650・2013
235	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Nifedipine controlled-release 40 mg b.i.d. in Japanese patients with essential hypertension who responded insufficiently to nifedipine controlled-release 40 mg q.d.: a phase III, randomized, double-blind and parallel-group study.	Hypertens Res・37・1・69・75・2014
236	山本 照子	顎口腔矯正学分野	N-myristoylation is essential for protein phosphatases PPM1A and PPM1B to dephosphorylate their physiological substrates in cells	Biochem J・449・3・741・749・2013
237	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Notch signaling pathway targeted therapy suppresses tumor progression and metastatic spread in pancreatic cancer.	Cancer Lett・335・1・41・51・2013
238	下瀬川 徹	消化器内科	Novel therapeutic strategies targeting tumor-stromal interactions in pancreatic cancer.	Front Physiol・4・331・331・2013
239	渡邊 みか	病理部	NRF2 immunolocalization in human breast cancer patients as a prognostic factor.	Endocr Relat Cancer・21・2・241・252・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
240	春日 紀恵	薬剤部	Ontogeny, distribution and potential roles of 5-hydroxymethylcytosine in human liver function	Genome Biology・14・8・R83・R83・2013
241	笹原 洋二	小児科	Open conformation of WASP regulates its nuclear localization and gene transcription in myeloid cells.	Int Immunol・26・6・341・352・2014
242	中里 信和	てんかん学分野	Optogenetically induced seizure and the longitudinal hippocampal network dynamics.	PLoS One・8・4・e60928・e60928・2013
243	山本 照子	顎口腔矯正学分野	Orthodontic miniscrew failure rate and root proximity, insertion angle, bone contact length, and bone density	Orthod Craniofac Res・16・1・44・55・2013
244	井樋 栄二	整形外科学分野	Osteomyelitis of the spine caused by mycobacterium avium complex in an immunocompetent patient	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE・18・3・490・495・2013
245	小暮 高之	消化器内科	Oxidative stress and extracellular matrices after hepatectomy and liver transplantation in rats.	World J Hepatol・6・2・72・84・2014
246	櫻田 晃	呼吸器外科	p190A RhoGAP is involved in EGFR pathways and promotes proliferation, invasion and migration in lung adenocarcinoma cells.	Int J Oncol・43・5・1569・1577・2013
247	下瀬川 徹	消化器内科	Pancreatic duct drainage using EUS-guided rendezvous technique for stenotic pancreaticojejunostomy.	World J Gastroenterol・19・31・5182・5186・2013
248	正宗 淳	消化器病態学分野	Pancreatic Stellate Cells Induce beta-Cell Dysfunction and Apoptosis -a Novel Mechanism of Diabetes in Diseased Pancreas-	Gastroenterology・144・5.1・S477・S477・2013
249	正宗 淳	消化器病態学分野	Pancreatic stellate cells reduce insulin expression and induce apoptosis in pancreatic beta-cells	Biochem. Biophys. Res. Commun.・433・3・292・297・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
250	中里 信和	てんかん学分野	Parental satisfaction and seizure outcome after corpus callosotomy in patients with infantile or early childhood onset epilepsy.	Seizure・22・4・303・305・2013
251	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Pathophysiology and genetic mutations in congenital sideroblastic anemia.	Pediatr Int・55・6・675・679・2013
252	笹原 洋二	小児科	PBSCT is associated with poorer survival and increased chronic GvHD than BMT in Japanese paediatric patients with acute leukaemia and an HLA-matched sibling donor.	Pediatr Blood Cancer・60・9・1513・1519・2013
253	植松 貢	小児科	Pediatric-Onset Extracerebral Stabbing Pain.	J Child Neurol・29・8・NP47・NP48・2013
254	小池 智幸	消化器病態学分野	Peptic ulcers after the Great East Japan earthquake and tsunami: possible existence of psychosocial stress ulcers in humans.	J Gastroenterol・48・4・483・490・2013
255	植松 貢	小児科	Periodic Eye Movements and Epileptic Spasms in West Syndrome.	J Child Neurol・28・11・1483・1484・2013
256	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Phase II clinical study of alternate-day oral therapy with S-1 as first-line chemotherapy for locally advanced and metastatic pancreatic cancer.	Cancer Chemother Pharmacol・73・1・97・102・2013
257	石岡 千加史	腫瘍内科	Phase II Trial of Cetuximab plus Irinotecan for Oxaliplatin- and Irinotecan-Based Chemotherapy-Refractory Patients with Advanced and/or Metastatic Colorectal Cancer: Evaluation of Efficacy and Safety Based on KRAS Mutation Status (T-	Oncology・87・1・7・20・2014
258	井樋 栄二	整形外科学分野	PHOTOACOUSTIC IMAGING OF CARTILAGE-BONE COMPLEX	OSTEOARTHRITIS AND CARTILAGE・21・S・S192・S192・2013
259	土谷 昌広	加齢歯科学分野	Physiological distal drift in rat molars contributes to acellular cementum formation.	Anat Rec (Hoboken)・296・8・1255・1263・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
260	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Pigment epithelium-derived factor as a new predictor of mortality among chronic kidney disease patients treated with hemodialysis.	Ther Apher Dial・17・6・625・630・2013
261	渡邊 みか	病理部	Pilomyxoid astrocytoma of the cerebellum with Williams syndrome: a case report.	Childs Nerv Syst・29・7・1211・1214・2013
262	下瀬川 徹	消化器内科	Plasma amino acids imbalance in cirrhotic patients disturbs the tricarboxylic acid cycle of dendritic cell.	Sci Rep・3・3459・3459・2013
263	工藤 大介	高度救命救急センター	Plasma mitochondrial DNA levels in patients with trauma and severe sepsis: time course and the association with clinical status.	J Crit Care・28・6・1027・1031・2013
264	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Plasticity of renal erythropoietin-producing cells governs fibrosis.	J Am Soc Nephrol・24・10・1599・1616・2013
265	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Polyarteritis nodosa clinically mimicking nonocclusive mesenteric ischemia.	World J Gastroenterol・19・23・3693・3698・2013
266	中里 信和	てんかん学分野	Positive auditory cortical responses in patients with absent brainstem response.	Clin Neurophysiol・125・1・148・153・2014
267	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Postoperative cholestasis and cholangitis after total pancreatectomy with biliary reconstruction impair the function of autotransplanted islets.	Transplantation・96・5・e40・e43・2013
268	近藤 泰輝	消化器内科	PPARs and Liver Disease.	PPAR Res・2013・896412・896412・2013
269	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Predictors of decreasing glomerular filtration rate and prevalence of chronic kidney disease after treatment of primary aldosteronism: Renal outcome of 213 cases.	J Clin Endocrinol Metab・99・5・1593・1598・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
270	西郡 秀和	産科	Pregnancy outcomes of gestational diabetes mellitus according to pre-gestational BMI in a retrospective multi-institutional study in Japan.	Endocr J・61・4・373・380・2014
271	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Prevalence and time course of hepatitis B virus infection in patients with systemic lupus erythematosus under immunosuppressive therapy.	Mod Rheumatol・23・6・1094・1100・2013
272	井樋 栄二	整形外科学分野	Prevalence of symptomatic and asymptomatic rotator cuff tears in the general population: From mass-screening in one village.	J Orthop・10・1・8・12・2013
273	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Prevention of Reg I-induced β -cell apoptosis by IL-6/dexamethasone through activation of HGF gene regulation.	Biochim Biophys Acta・1833・12・2988・2995・2013
274	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Primary retroperitoneal diffuse large B-cell lymphoma presenting with numb chin syndrome and painful ophthalmoplegia.	Intern Med・52・16・1813・1819・2013
275	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	Prognosis of primary aldosteronism in Japan: results from a nationwide epidemiological study.	Endocr J・61・1・35・40・2013
276	下瀬川 徹	消化器内科	Prognostic and diagnostic significance of tumor budding associated with beta-catenin expression in submucosal invasive colorectal carcinoma.	Tohoku J Exp Med・229・1・53・59・2013
277	土谷 昌広	加齢歯科学分野	Prompt analgesic effect of antihistaminic diphenhydramine ointment on bone-joint-muscle pain as assessed by skin impedance.	Pharmacology・92・41702・158・166・2013
278	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Proposal of a new staging system for mass-forming intrahepatic cholangiocarcinoma: a multicenter analysis by the Study Group for Hepatic Surgery of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	J Hepatobiliary Pancreat Sci・21・7・499・508・2014
279	藤島 史喜	病理部	Prospective randomized controlled study comparing cell block method and conventional smear method for bile cytology.	Dig Endosc・25・4・444・452・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
280	正宗 淳	消化器病態学分野	PRSS1 c.623G > C (p.G208A) variant is associated with pancreatitis in Japan	Gut・63・2・366・366・2014
281	春日 紀恵	薬剤部	Quantitative intact proteomics investigations of alveolar macrophages in sarcoidosis.	The European respiratory journal・41・1331・1339・2013
282	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Randomized Phase III Study of Gemcitabine Plus S-1, S-1 Alone, or Gemcitabine Alone in Patients With Locally Advanced and Metastatic Pancreatic Cancer in Japan and Taiwan: GEST Study.	J Clin Oncol・31・13・1640・1648・2013
283	植松 貢	小児科	RBPJ is disrupted in a case of proximal 4p deletion syndrome with epilepsy.	Brain Dev・36・6・532・536・2013
284	小池 智幸	消化器病態学分野	Reactive increase in gastric mucus secretion is an adaptive defense mechanism against low-dose aspirin-induced gastropathy.	Dig Dis Sci・58・8・2266・2274・2013
285	櫻田 晃	呼吸器外科	Reconstruction of pulmonary artery with donor aorta and autopericardium in lung transplantation.	Ann Thorac Surg・96・1・e17・e19・2013
286	渡邊 みか	病理部	Recurrent chondro-osseous respiratory epithelial adenomatoid hamartoma of the nasal cavity in a child.	Ear Nose Throat J・93・1・E29・E31・2014
287	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	Reduction and residual proteinuria are therapeutic targets in type 2 diabetes with overt nephropathy: a post hoc analysis (ORIENT-proteinuria).	Nephrol Dial Transplant・28・10・2526・2534・2013
288	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Regulation of human Cripto-1 expression by nuclear receptors and DNA promoter methylation in human embryonal and breast cancer cells.	J Cell Physiol・228・6・1174・1188・2013
289	竹内 直行	肢体不自由リハビリテーション科	Rehabilitation with poststroke motor recovery: a review with a focus on neural plasticity.	Stroke Res Treat・2013・128641・128641・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
290	佐藤 大	メディカルITセンター	Reliability of Telecommunications Systems Following a Major Disaster: Survey of Secondary and Tertiary Emergency Institutions in Miyagi Prefecture During the Acute Phase of the 2011 Great East Japan Earthquake.	Prehosp Disaster Med・29・2・204・208・2014
291	吉田 寛	肝・胆・膵外科	Repeated pancreatectomy for metachronous duodenal and pancreatic metastases of renal cell carcinoma.	Case Rep Gastroenterol・7・3・442・448・2013.
292	工藤 大介	高度救命救急センター	Resources for business continuity in disaster-based hospitals in the great East Japan earthquake: survey of Miyagi Prefecture disaster base hospitals and the prefectural disaster medicine headquarters.	Disaster Med Public Health Prep・7・5・461・466・2013
293	石井 智徳	血液・免疫病学分野	Retreatment efficacy and safety of tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis in recurrence (RESTORE) study.	Mod Rheumatol.・24・1・26・32・2014
294	井樋 栄二	整形外科科学分野	Risk of acetabular protrusion is low in rheumatoid arthritis patients treated with bipolar hemiarthroplasty for displaced femoral neck fractures without rheumatoid change in hip joints.	Eur J Orthop Surg Traumatol・24・6・905・909・2013
295	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Role of the intraluminal contents and the continuity of intrinsic neurons in intracolonic capsaicin-induced contraction and defecation in dogs.	Surg Today・44・1・152・159・2014
296	土谷 昌広	加齢歯科学分野	Roles played by histamine in strenuous or prolonged masseter muscle activity in mice.	Clin Exp Pharmacol Physiol・40・12・848・855・2013
297	笹原 洋二	小児科	Selective expansion of donor-derived regulatory T cells after allogeneic bone marrow transplantation in a patient with IPEX syndrome.	Pediatr Transplant・18・1・E25・E30・2014
298	小暮 高之	消化器内科	Sequential analysis of amino acid substitutions with hepatitis B virus in association with nucleoside/nucleotide analog treatment detected by deep sequencing.	Hepato Res・44・6・678・684・2013
299	小池 智幸	消化器病態学分野	Serious laryngeal edema during endoscopic resection for squamous cell carcinoma of the esophagus.	Endoscopy・45・4・313・315・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
300	高橋 雅信	腫瘍内科	Serum miR-21 as a Diagnostic and Prognostic Biomarker in Colorectal Cancer	JNCI- Natl. Cancer Inst.・105・12・849・859・2013
301	正宗 淳	消化器病態学分野	Sex and Age Differences in Alcoholic Pancreatitis in Japan A Multicenter Nationwide Survey	Pancreas・42・4・578・583・2013
302	渡邊 みか	病理部	Significance of CD133 expression in esophageal squamous cell carcinoma.	World J Surg Oncol・11・51・51・2013
303	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Significant improvement of Takayasu arteritis after cord blood transplantation in a patient with myelodysplastic syndrome	Bone Marrow Transplant・49・3・458・459・2014
304	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Single quantum dot tracking reveals that an individual multivalent HIV-1 Tat-protein transduction domain can activate machinery for lateral transport and endocytosis.	Mol Cell Biol・33・15・3036・3049・2013
305	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Strategy for clinical setting in intramuscular and subcutaneous islet transplantation.	Diabetes Metab Res Rev・30・1・1・10・2014
306	依田 信裕	口腔システム補綴学分野	Stress distribution in the peri-implant bone with splinted and non-splinted implants by in vivo loading data-based finite element analysis.	Odontology・101・222・226・2013
307	井樋 栄二	整形外科学分野	Stress distribution inside bone after suture anchor insertion: simulation using a three-dimensional finite element method	KNEE SURGERY SPORTS TRAUMATOLOGY ARTHROSCOPY・21・8・1777・1782・2013
308	井樋 栄二	整形外科学分野	Stress Distribution Within Rotator Cuff Tendons With a Crescent-Shaped and an L-Shaped Tear	AMERICAN JOURNAL OF SPORTS MEDICINE・41・10・2262・2269・2013
309	笹原 洋二	小児科	Successful treatment with rituximab of an infant with refractory autoimmune hemolytic anemia.	Int J Hematol・98・2・237・239・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
310	中里 信和	てんかん学分野	Summary of 15 years experience of awake surgeries for neuroepithelial tumors in tohoku university.	Neurol Med Chir (Tokyo)・53・7・455・466・2013
311	下瀬川 徹	消化器内科	Supplementation of branched-chain amino acids maintains the serum albumin level in the course of hepatocellular carcinoma recurrence.	Tohoku J Exp Med・230・4・191・196・2013
312	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Suppressed expression of NDRG2 correlates with poor prognosis in pancreatic cancer.	Biochem Biophys Res Commun・441・1・102・107・2013
313	井樋 栄二	整形外科学分野	Symptomatic Rotator Cuff Tears Show Higher Radioisotope Uptake on Bone Scintigraphy Compared With Asymptomatic Tears	AMERICAN JOURNAL OF SPORTS MEDICINE・41・9・2028・2033・2013
314	海野 倫明	消化器外科学・生体調節外科学	Tandutinib (MLN518/CT53518) targeted to stem-like cells by inhibiting the function of ATP-binding cassette subfamily G member 2	Eur J Pharm Sci・49・3・441・450・2013
315	青木 洋子	遺伝医療学分野	TBX1 Mutation Identified by Exome Sequencing in a Japanese Family with 22q11.2 Deletion Syndrome-Like Craniofacial Features and Hypocalcemia.	PLOS ONE ・9・3・e91598・e91598・2014
316	笹原 洋二	小児科	T-cell receptor ligation causes Wiskott-Aldrich syndrome protein degradation and F-actin assembly downregulation.	J Allergy Clin Immunol・132・3・648・655.e1・2013
317	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	T-cell/histiocyte-rich large B-cell lymphoma of the thyroid.	Exp Hematol Oncol・2・1・1・1・2013
318	中里 信和	てんかん学分野	Temporal intermittent rhythmic delta activity and abdominal migraine.	Neurol Sci・35・4・627・628・2014
319	正宗 淳	消化器病態学分野	The angiotensin II type I receptor blocker olmesartan inhibits the growth of pancreatic cancer by targeting stellate cell activities in mice	Scand. J. Gastroenterol.・48・5・602・609・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
320	海野 倫明	消化器外科学・ 生体調節外科学	The best surgical approach for perforated gastric cancer: one-stage vs. two-stage gastrectomy.	Gastric Cancer・ 17・3・578・587・ 2013
321	石岡 千加史	腫瘍内科	The BRCA1/BARD1-interacting protein OLA1 functions in centrosome regulation	Mol Cell・53・1・ 101・114・2014
322	水田 健太郎	歯科口腔麻酔学分野	The dopamine D1 receptor is expressed and facilitates relaxation in airway smooth muscle	Respiratory REsearch・14・1・ 89・・2013
323	菊池 雅彦	総合歯科診療部	The Effect of Mouth Remaining Open or Close on the Depth of Mandibular Alveolo-buccal Vestibule during Impression Recording.	Journal of Pakistan Prosthodontics Association・1・1・ 12・20・2013
324	井樋 栄二	整形外科学分野	The Effect of the Remplissage Procedure on Shoulder Range of Motion: A Cadaveric Study.	Arthroscopy・30・2・ 178・87・2013
325	海野 倫明	消化器外科学・ 生体調節外科学	The effects of endothelial cells-preserving technique on microsurgical vascular reconstruction in biliary tract malignancy: report of twenty cases.	Case Rep Gastroenterol・8・1・ 18・25・2014
326	藤村 卓	皮膚科学分野	The expression of CD39/Entpd1 on granuloma composing cells and induction of Foxp3+ regulatory T cells in sarcoidosis.	Clinical and Experimental Dermatology・38・8・ 883・889・2013
327	海野 倫明	消化器外科学・ 生体調節外科学	The expression of S100A4 in human pancreatic cancer is associated with invasion.	Pancreas・42・6・ 1027・1033・2013
328	石岡 千加史	腫瘍内科	The expression status of CD133 is associated with the pattern and timing of primary glioblastoma recurrence	Neuro Oncol・15・ 9・1151・1159・2013
329	工藤 大介	高度救命救急センター	The great East Japan earthquake: lessons learned at Tohoku University Hospital during the first 72 hours.	IEEE Pulse・4・3・ 20・27・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
330	山田 充啓	呼吸器内科	The increase of microRNA-21 during lung fibrosis and its contribution to epithelial-mesenchymal transition in pulmonary epithelial cells.	Respir Res・14・95・95・2013
331	山本 照子	顎口腔矯正学分野	The influence of craniofacial morphology on Mandibular border movements	Cranio・31・1・14・22・2013
332	中澤 徹	眼科学分野	The influence of posture change on ocular blood flow in normal subjects, measured by laser speckle flowgraphy	Curr Eye Res・38・691・698・2013
333	井樋 栄二	整形外科学分野	The prevalence of a large Hill-Sachs lesion that needs to be treated	JOURNAL OF SHOULDER AND ELBOW SURGERY・22・9・1285・1289・2013
334	櫻田 晃	呼吸器外科	The prognostic significance of eukaryotic elongation factor 1 alpha-2 in non-small cell lung cancer.	Anticancer Res・34・2・651・658・2014
335	渡邊 みか	病理部	The prognostic significance of vasohibin 1-associated angiogenesis in patients with hepatocellular carcinoma.	Hum Pathol・45・3・589・597・2013
336	川井 忠	歯科顎口腔外科	The regenerated bone quality by implantation of octacalcium phosphate collagen composites (OCP/Col) in a canine alveolar cleft model	The Cleft Palate-Craniofacial Journal・51・4・420・430・2013
337	中澤 徹	眼科学分野	The Role of Nrf2-Mediated Defense System in Corneal Epithelial Wound Healing.	Free Radic Biol Med・61C・333・342・2013
338	井樋 栄二	整形外科学分野	The Stabilizing Mechanism of the Latarjet Procedure A Cadaveric Study	JOURNAL OF BONE AND JOINT SURGERY-AMERICAN VOLUME・95A・15・1390・1397・
339	山本 照子	顎口腔矯正学分野	The use of miniscrew as orthodontic anchorage in correction of maxillary protrusion	Orthodontics (Chic.)・14・1・e156・e167・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
340	中里 信和	てんかん学分野	The usefulness of subtraction ictal SPECT and ictal near-infrared spectroscopic topography in patients with West syndrome.	Brain Dev・35・10・887・893・2013
341	下瀬川 徹	消化器内科	The zinc transporter LIV-1 is a novel regulator of stemness in pancreatic cancer cells.	Scand J Gastroenterol・49・2・215・221・2014
342	小暮 高之	消化器内科	Therapeutic Potential of the Translation Inhibitor Silvestrol in Hepatocellular Cancer	PLOS ONE・8・9・e76136・2013
343	小暮 高之	消化器内科	Three cases of adult-onset type II citrullinemia treated with different therapies: Efficacy of sodium pyruvate and low-carbohydrate diet.	Hepato Res・44・6・707・712・2013
344	中里 信和	てんかん学分野	Time-varying inter-hemispheric coherence during corpus callosotomy.	Clin Neurophysiol・124・11・2091・2100・2013
345	渡邊 みか	病理部	Tracer injection sites and combinations for sentinel lymph node detection in patients with endometrial cancer.	Gynecol Oncol・131・2・299・303・2013
346	渡邊 みか	病理部	Transformation of adult cerebellar pilocytic astrocytoma to glioblastoma.	Brain Tumor Pathol・31・2・108・112・2013
347	正宗 淳	消化器病態学分野	Transforming growth factor-alpha activates pancreatic stellate cells and may be involved in matrix metalloproteinase-1 upregulation	Lab. Invest.・93・6・720・732・2013
348	中澤 徹	眼科学分野	Transscleral sustained vasohibin-1 delivery by a novel device suppressed experimentally-induced choroidal neovascularization.	PLoS One・8・3・e58580・e58580・2013
349	石井 正	総合地域医療教育支援部	Treatment of Posttraumatic Stress Disorder Using the Traditional Japanese Herbal Medicine Saikokeishikankyoto: A Randomized, Observer-Blinded, Controlled Trial in Survivors of the Great East Japan Earthquake and Tsunami	Evidence-based Complementary and Alternative Medicine・2014・683293・683293・2014

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
350	渡邊 みか	病理部	Treatment results of glioblastoma during the last 30 years in a single institute.	Neurol Med Chir (Tokyo)・53・11・786・796・2013
351	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野	Tuberculosis exposure among evacuees at a shelter after earthquake, Japan, 2011.	Emerg Infect Dis・19・5・799・801・2013
352	藤村 卓	皮膚科学分野	successful local control of cutaneous Merkel cell carcinoma on the eyelid with CyberKnife radiosurgery.	European Journal of Dermatology・23・5・725・726・2013
353	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	Ulcerative colitis is not a rare complication of Takayasu arteritis	Mod Rheumatol・24・2・372・373・2014
354	植松 貢	小児科	Utility of thallium-201 scintigraphy in Tolosa-Hunt syndrome.	Tohoku J Exp Med・229・1・83・86・2013
355	正宗 淳	消化器病態学分野	Variants in CPA1 are strongly associated with early onset chronic pancreatitis	Nature Genet.・45・10・1216・1220・2013
356	中澤 徹	眼科学分野	Visual outcome after intravitreal bevacizumab depends on the optical coherence tomographic patterns of patients with diffuse diabetic macular edema.	Retina・33・4・740・747・2013
357	井樋 栄二	整形外科科学分野	Visualization of torn anterior cruciate ligament using 3-dimensional computed tomography.	Orthop Rev (Pavia)・5・3・e22・e22・2013
358	井樋 栄二	整形外科科学分野	Vitamin D receptor gene silencing effects on differentiation of myogenic cell lines.	Muscle Nerve・49・5・700・708・2013
359	中澤 徹	眼科学分野	Waveform Analysis of Ocular Blood Flow and the Early Detection of Normal Tension Glaucoma	Invest Ophthalmol Vis Sci・54・7699・7706・2013

計 10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
360	正宗 淳	消化器病態学分野	Whole Exome Sequencing Might Become the New Strategy to Identify Unknown Mutations for Pancreatitis	Gastroenterology・144・5.1・S459・S459・2013
361	笹原 洋二	小児科	Wiskott-Aldrich syndrome presenting with a clinical picture mimicking juvenile myelomonocytic leukaemia.	Pediatr Blood Cancer・60・5・836・841・2013

合計 361

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年の改正前の基準による実績についても報告すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	[Cutting-edge of medicine; iron metabolism--recent findings]	Nihon Naika Gakkai Zasshi・102・10・2699・2704・2013
2	山田 充啓	呼吸器内科	【COPDの病態と実臨床における薬物療法?症例から診るCOPD薬物療法の新展開?】 COPDの増悪と呼吸器感染症の関わり	Pharma Medica・32・2・176・177・2014
3	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	【もう見逃さない!迷わない! 非血液専門医のための血液診療】この血液疾患を見逃してはいけない 専門医への紹介のタイミング 巨赤芽球性貧血・溶血性貧血	Medicina・51・3・414・416・2014
4	下瀬川 徹	消化器内科	【胃炎除菌時代の内視鏡診断】除菌後のGERDとBarrett食道の発生について	消化器内視鏡・25・12・2012・2017・2013
5	下瀬川 徹	消化器内科	【家族性膵癌:これからの膵癌診療におけるキーワード】類縁疾患 遺伝性膵炎における発癌	胆と膵・34・7・545・551・2013
6	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	【活性化酸素-基礎から病態解明・制御まで】疾患病態・臨床編 赤血球造血・鉄代謝と酸化ストレス	医学のあゆみ・247・9・895・900・2013
7	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	【赤血球造血の基礎と臨床】ヘム合成系の異常と関連疾患	血液フロンティア・24・4・581・589・2014
8	下瀬川 徹	消化器内科	【知っていますか?急性膵炎はこう治す!】急性膵炎に対する薬物療法 予防的抗菌薬使用のEBMを考える	胆と膵・34・10・1073・1077・2013
9	下瀬川 徹	消化器内科	【知っていますか?急性膵炎はこう治す!】急性膵炎初期診療の重要性を再確認する 「急性膵炎初期診療におけるコンセンサス」の改訂を受けて	胆と膵・34・10・1049・1054・2013

計 9

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
10	下瀬川 徹	消化器内科	【知っていますか?急性膵炎はこう治す!】日本における急性膵炎の実態 全国調査より	胆と膵・34・10・1031・1034・2013
11	小荒井 晃	呼吸器内科	25-hydroxycholesterol promotes fibroblast-mediated tissue remodeling through NF-kappaB dependent pathway.	Exp Cell Res・319・8・1176・1186・2013
12	中島 一郎	神経内科学分野	Aquaporin-4 antibody-positive cases beyond current diagnostic criteria for NMO spectrum disorders.	Neurology・80・24・2210・2216・2013
13	中島 一郎	神経内科学分野	Current concept of neuromyelitis optica (NMO) and NMO spectrum disorders.	J Neurol Neurosurg Psychiatry・84・8・922・930・2013
14	渡邊 みか	病理部	G-CSF産生腸腰筋内軟部腫瘍の1例	日本整形外科学会雑誌・87・6・S1137・S1137・2013
15	加賀谷 豊	総合地域医療研修センター	Heart rate variability and hemodynamic change in the superior mesenteric artery by acupuncture stimulation of lower limb points: a randomized crossover trial.	Evid Based Complement Alternat Med・2013・315982・315982・2013
16	小荒井 晃	呼吸器内科	Persistent elevation of exhaled nitric oxide and modification of corticosteroid therapy in asthma.	Respir Investig・51・2・84・91・2013
17	中島 一郎	神経内科学分野	Presence of six different lesion types suggests diverse mechanisms of tissue injury in neuromyelitis optica.	Acta Neuropathol・125・6・815・827・2013
18	小荒井 晃	呼吸器内科	Reduced level of physical activity in Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Respir Investig・52・1・41・48・2014
19	小荒井 晃	呼吸器内科	Relationship between alveolar nitric oxide concentration in exhaled air and small airway function in COPD.	J Breath Res・7・4・46002・46002・2013
20	小荒井 晃	呼吸器内科	Successful crizotinib retreatment after crizotinib-induced interstitial lung disease.	J Thorac Oncol・8・8・e73・e74・2013

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
21	加賀谷 豊	総合地域医療研修センター	Usefulness of combined risk stratification with heart rate and systolic blood pressure in the management of chronic heart failure. A report from the CHART-2 study.	Circ J・77・12・2954・2962・2013
22	谷内 真司	病理部	Weber-Christian病として治療中に subcutaneous panniculitis-like T cell lymphomaが出現した一例	日本リンパ網内系学会会誌・53・150・150・2013
23	相沢 俊峰	整形外科	X線診断Q&A	整形外科・64・73・74・2013
24	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	アルドステロンと病態 アルドステロンと高血圧症(原発性アルドステロン症を中心に)治療抵抗性高血圧としての原発性アルドステロン症	The Lipid・24・3・270・273・2013
25	笠島 敦子	病理部	バーチャル画像を用いた、乳腺疾患に対する病理コンサルテーションの精度	日本病理学会会誌・102・1・368・368・2013
26	館 正弘	形成外科学分野	ラップ療法とはどのような治療方法なのでしょうか？またその是非について教えてください	Geriatric Medicine (老年医学)・51・12・1323・1325・2013
27	藤島 史喜	病理部	開腹下に内視鏡的ポリープ切除術を施行したPeutz-Jeghers症候群にともなう小腸重積の1例	日本消化器病学会雑誌・110・6・1014・1021・2013
28	井樋 栄二	整形外科科学分野	経験と考察 解剖学的二重束再建術への術式変更 経脛骨骨孔法とoutside to inside法の検討	整形外科・64・12・1261・1266・2013
29	藤島 史喜	病理部	検診上部消化管内視鏡検査を契機に診断された膵尾部癌胃直接浸潤の1例	日本消化器がん検診学会雑誌・51・3・77・77・2013
30	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	原発性アルドステロン症・診断と治療の最新展開】Key Words 原発性アルドステロン症の診断とそのサブタイプ診断における18-oxocortisolの臨床的意義	カレントセラピー・31・7・746・746・2013
31	渡邊 みか	病理部	骨巨細胞腫に対する無水エタノール処理および純リン酸3カルシウム充填術	日本整形外科学会雑誌・87・6・S1245・S1245・2013

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
32	渡邊 みか	病理部	術後14年で骨転移を来したphosphaturic mesenchymal tumorの1例	日本整形外科学会雑誌・87・6・S1232・S1232・2013
33	飯島 克則	消化器内科	除菌後のGERDとBarrett食道の発生について	消化器内視鏡・25・2012・2017・2013
34	渡邊 みか	病理部	常染色体優性多発性嚢胞腎に発生した両側腎腫瘍の2例	日本病理学会会誌・102・1・328・328・2013
35	渡邊 みか	病理部	食道扁平上皮癌に対する放射線化学療法後の組織学的評価について	日本病理学会会誌・102・1・383・383・2013
36	笠島 敦子	病理部	神経内分泌腫瘍(NETs)におけるプロゲステロンの転移抑制作用	日本内分泌学会雑誌・89・1・232・232・2013
37	佐藤 康弘	心療内科	摂食障害と脳機能画像	臨床精神医学・42・5・599・605・2013
38	渡邊 みか	病理部	前胸部に発生したplexiform fibrohistiocytic tumorの1例	日本整形外科学会雑誌・87・6・S1126・S1126・2013
39	渡邊 みか	病理部	足関節部傍骨性骨化性筋炎の1例	東北整形災害外科学会雑誌・56・1・211・211・2013
40	渡邊 みか	病理部	足部に発症し著しい石灰化を呈したinfantile myofibromatosisの1例	日本整形外科学会雑誌・87・6・S1128・S1128・2013
41	佐藤 尚明	産科	胎児脳出血はp53シグナル不活性化で抑制される	東北医学雑誌・125・1・88・90・2013
42	石岡 千加史	腫瘍内科	第2期の宮城県がん対策推進計画の概要	癌と化学療法・40・5・570・574・2013

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
43	中里 信和	てんかん学分野	知らないと患者もあなたも損をするてんかん診療ABC!(第2回) てんかん診療の初回の設定	脳神経外科速報・23・4・446・448・2013
44	中里 信和	てんかん学分野	知らないと患者もあなたも損をするてんかん診療ABC!(第3回) 発作症状の聴取	脳神経外科速報・23・5・546・548・2013
45	中里 信和	てんかん学分野	知らないと患者もあなたも損をするてんかん診療ABC!(第4回) 生活歴はなぜ必要か	脳神経外科速報・23・6・672・674・2013
46	中里 信和	てんかん学分野	知らないと患者もあなたも損をするてんかん診療ABC!(第5回) てんかん診断に脳波は必要か?	脳神経外科速報・23・8・924・927・2013
47	佐藤 尚明	産科	帝王切開癒痕部妊娠の保存的治療後、妊娠・分娩に至った一例	仙台赤十字病院医学雑誌・22・1・89・94・2013
48	渡邊 みか	病理部	軟部腫瘍および滑液包炎との鑑別を要した両肘巨大痛風結節の1例	日本整形外科学会雑誌・87・6・S1131・S1131・2013
49	石岡 千加史	腫瘍内科	分子標的治療薬:消化器癌	日本胸部臨床・73・2・146・164・2014
50	石岡 千加史	腫瘍内科	分子標的治療薬の進歩 特徴と将来の展望	耳鼻咽喉科・頭頸部外科・85・7・472・478・2013
51	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	本邦における遺伝性鉄芽球性貧血の臨床病学的特徴	日本内科学会雑誌・103・262・2014
52	渡邊 みか	病理部	毛芽腫を併発した成熟嚢胞奇形腫を子宮体部類内膜腺癌を合併した一例	日本婦人科腫瘍学会雑誌・31・3・532・532・2013
53	張替 秀郎	血液・免疫病学分野	臨床検査ガイドラインJSLM2012の活用法改訂のポイントを一刀両断 血液・造血器	臨床病理・61・96・2013

計 11

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
54	渡邊 みか	病理部	肋骨に発生したposttraumatic fibro-osseous lesionの1例	日本整形外科学会雑誌・87・6・S1131・S1131・2013
55	渡邊 みか	病理部	膵消化管神経内分泌腫瘍における免疫組織学的な治療標的分子の発現状況	日本病理学会会誌・102・1・320・320・2013

合計 55

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 主に「申請手続きの概要（対象者、申請の種類、倫理委員会の構成、審査の方法、委員会開催日、申請書類提出期限、提出書類、提出部数、申請手続きの流れなど）」「申請書の記入方法」「学内規程」を含む内容となっている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会後年の推進を図ることを目的とする。 「利益相反マネジメント推進体制」、「利益相反マネジメントの実施方法」	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容 「倫理委員会への申請における留意点」「医学研究に関する諸制度の考え方と概要」等。	

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

後期研修では、当院と関連病院が連携し、専門医資格の取得を前提とした高度な医療の修得を行っています。診療科毎に研修プログラムを作成し、多様な経験により全人的な診療が可能となることを目的としています。およそ卒後3～5年目に行う研修が一般的となっており、大学院で学位を先行して取得することも可能です。

多くの診療科では、3年程度で専門医を取得後、サブスペシャリティー研修が用意されています。当院では多くの関連病院の中から、可能な限り希望や事情に合わせて各人に最も適したプログラムでの研修を行えるよう心掛けています。

2 研修の実績

研修医の人数	46.00	人
--------	-------	---

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	内科 (総合診療外来)	准教授	20	
下川 宏明	循環器内科	教授	35	
具 芳明	感染症内科	助手	17	
伊藤 貞嘉	腎臓・内分泌内科	教授	35	
張替 秀郎	血液内科	教授	28	
石井 智徳	リウマチ科	准教授	26	
片桐 秀樹	糖尿病・代謝内科	教授	27	
飯島 克則	消化器内科	講師	20	
沖永 壮治	老年内科	准教授	24	
高山 真	漢方内科	准教授	18	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
庄司 知隆	心療内科	助教	22	
玉田 勉	呼吸器内科	講師	20	
石岡千加史	腫瘍内科	教授	31	
海野 倫明	肝臓・胆のう・膵臓外科	教授	29	
海野 倫明	胃腸外科	教授	29	
亀井 尚	移植・食道・血管外科	准教授	23	
石田 孝宣	乳腺・内分泌外科	准教授	27	
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	24	
小澤 浩司	整形外科	准教授	29	
館 正弘	形成外科	教授	30	
岡田 克典	呼吸器外科	准教授	26	
山内 正憲	麻酔科	教授	24	
八重樫伸生	産婦人科	教授	31	
伊藤 明宏	泌尿器科	准教授	25	
青木 正志	神経内科	教授	22	
岩崎 真樹	脳神経外科	講師	17	
松岡 洋夫	精神科	教授	36	
坂本 修	小児科	准教授	23	
風間 理郎	小児外科	助教	17	
風間 理郎	小児腫瘍外科	助教	17	
菊地 克子	皮膚科	講師	26	
國方 彦志	眼科	准教授	18	
香取 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	24	
香取 幸夫	頭頸部外科	教授	24	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
出江 紳一	リハビリテーション科	教授	31	
上月 正博	リハビリテーション科	教授	33	
神宮 啓一	放射線科	教授	10	
工藤 大介	救急科	助教	13	
渡辺 みか	病理診断科	准教授	24	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容：

看護実践を担う看護職員のキャリア開発やジェネラリストとしての看護実践能力向上のために、「看護実践能力（クリニカルラダー）」システムを導入し、看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の4項目について、レベル別に教育プログラムを組んでいる。

・研修の期間・実施回数：平成25年4月～平成26年3月 期間中62回開催

・研修の参加人数：期間中延べ 3, 312人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

看護師長や副看護師長を対象に、看護管理者が人を育成しながら、組織運営に係わる資質向のため、「看護実践の組織化能力（マネジメントラダー）」システムを導入し、目標管理、人間関係能力、看護の質評価・改善、教育・研究、倫理の5項目について、職位別の教育プログラムを組んでいる。

・研修の期間・実施回数：平成25年11月及び平成26年2月

・研修の参加人数：延べ 300人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 下瀬川 徹
管理担当者氏名	総務課長 志茂 弘明 ・ 医事課長 須田 仁

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 医事課 医療情報室 各診療科 薬剤部	診療記録については、ターミナルデジットファイリング法にて、入院患者は1入院1カルテ、外来は1患者1ファイルで、最終診療日から15年間保存、診療録管理室で一元管理している。処方せんについては、1日毎・処方の区別毎に管理、入院分は更に病棟別に管理している。エックス線フィルムについては、平成22年3月31日まで1患者1ファイルで各診療科で管理しており、平成22年4月1日以降は、電子媒体として保存している。その他については、各部署で月毎や年毎に管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	患者数関係については、月毎に集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、月毎に集計、紙・電子媒体で管理している。高度の医療の実績関係については、診療科・総務課等からデータをもらい、年度毎に一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。その他については、各部署で月毎や年度毎に管理している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課及び医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	医事課
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
	各号及び第九条の二十三	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医薬品安全管理室
	第一項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医薬品安全管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医薬品安全管理室
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室	

年度毎に整理し紙媒体にてファイル保存している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	病院長	下瀬川 徹
閲覧担当者氏名	総務課長	志茂 弘明 ・ 医事課長 須田 仁
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要 閲覧については、諸記録毎の管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 院内における安全管理に関する基本的な考え方● 安全管理のための委員会、その他組織に関する基本的事項● 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本関係● 院内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針● 医療事故発生時の対応に関する基本方針● 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針● 患者からの相談への対応に関する基本方針● その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 医療に関する安全管理指針に関すること。(2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。(5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。(6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。(7) その他医療の安全管理等に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 1 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について研修会（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者対象医療安全講習会）● 具体的事例を取り上げた職種横断的な演習（年 5 回）● 医療安全管理全般に関する定期講演会（年 2 回）● その他医療安全管理に関する研修会（随時）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。● 事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。● 重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(3名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(4)名 兼任(25)名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療にかかる安全管理のための委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他の医療に係る安全管理のための委員会の庶務に関すること。 (2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。 (5) 医療安全にかかる連絡調整に関すること。 (6) 医療安全対策の推進に関すること。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内感染対策に関する基本的な考え方委員会等の組織に関する基本的事項職員研修に関する基本方針発生状況の報告に関する基本方針感染症発生時対応に関する基本方針指針の閲覧に関する基本方針その他の必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。● 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。● 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 6 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション）● 院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するDVD研修会）● 感染管理全般に関する定期講演会（年 6 回）● その他感染管理に関する研修会（随時）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： ● 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修 ● 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修 ● 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務 医薬品の管理に関する業務 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務 患者に対する与薬	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理室が医療安全巡視を実施 (年2回) 病棟又は外来診療科への巡視を薬剤師が月1回実施 医薬品添付文書改訂に伴う注意事項についての情報を通知	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
③ 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 8 5 回
・ 研修の主な内容： <input type="radio"/> 医療機器の有効性・安全性に関する研修 <input type="radio"/> 医療機器の使用法に関する研修 <input type="radio"/> 医療機器の保守点検に関する研修 <input type="radio"/> 医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する研修 <input type="radio"/> 医療機器の使用に関しての法令に関する研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ 保守点検の主な内容： <input type="radio"/> 始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 <input type="radio"/> 施設内部点検 <input type="radio"/> 外部委託点検 上記保守点検についての ① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年の把握及び記録 ② 保守点検の実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検計画の見直し	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <input type="radio"/> 添付文書等の管理 <input type="radio"/> 医療機器関連情報の病院管理者への報告 <input type="radio"/> 月 1 回の「医療機器点検の日」実施による機器の点検及び院内の意識啓発	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時 期：平成22年4月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科・スタッフの紹介、受診手続き等について掲載している、 また、併せて病院広報誌の刊行や市民公開講座及び病院見学会を定期的に開催し、本院の様々な情報を地域の方々に発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院ではがんセンターや小児医療センターなど、関連する複数の診療科からなる組織を設置し、患者に対し効率的かつ安全で高度な治療を行える診療体制を構築している。	